

豊橋市自然史博物館年報

第 36 号

令和 5 年度

ANNUAL REPORT OF THE
TOYOHASHI MUSEUM OF NATURAL HISTORY

No. 36

2023 - 2024

豊橋市自然史博物館

Toyohashi Museum of Natural History
Toyohashi 441-3147, Japan

はじめに

新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行しておよそ 1 年。博物館の日常は、ほぼ以前の状況に戻ってきました。教育普及活動においてお客様との対話がいかに大切であるかをスタッフ一同、実感して業務にあたっています。

さて、東三河 8 市町村で推し進めてきた「東三河ジオパーク構想」の今後の進め方について見直しを図り、新たな組織「東三河ジオ資源活用推進連絡会」を設立しました。これまで推進準備会では、教育部門が中心となって事業を進めてきましたが、新たに観光部門を加え、教育、観光の両面からジオ資源を活用する事業展開を目指しています。

令和 2 年度から 3 年間、豊橋市が取り組んできた「天然うなぎ資源保護再生プロジェクト」を紹介するため、企画展「汐川干潟のウナギ展」を開催しました。日本初、干潟における天然うなぎモニタリング調査の成果を、主要器材「石倉カゴ」の実物とともに紹介しました。

6 月、当館を会場に日本動物分類学会第 58 回大会が開催されました。開催初日、悪天候によって新幹線が一時運転見合わせとなったため、プログラム進行に若干の調整を要しましたが、ほぼ予定通りに開催できました。全国各地から多くの学会員が参加し、市民向けの普及講演会も盛況でした。

第 37 回特別企画展「カイジュウ博 2023—海で暮らす仲間たち—」では、鯨類を中心として海に暮らす多様な生物、漂着物、海洋環境などについて展示紹介しました。会期中には、海洋生物に詳しい芸能人として知られるココリコの田中さんをお招きし、担当学芸員とのトークショー「ココリコ田中さんと学ぶ！豊橋のくじら～海洋プラごみから海を守ろう～」を開催しました。

当館が位置する豊橋総合動植物公園（通称「のんほいパーク」）の一角、アジアゾウ達が池で水浴びを楽しむ姿を観察できる小高い丘の上に、休憩所兼教育普及施設「ひだまり交流館」ができました。園内の獣医師や研究員、飼育員、学芸員らが参加するオープンカフェのような活用もすすめています。機会がありましたら是非お立ち寄りください。

ここに年報第 36 号を発刊いたします。ご高覧の上、お気づきの点などについてご指導をいただければ幸いです。

令和 6 年 7 月
豊橋市自然史博物館

目次

はじめに

I. 年間事業.....	3	(1) 修繕.....	42
1. 令和5年度のあゆみ.....	3	(2) 備品.....	42
2. 教育普及活動.....	4	(3) 工事.....	42
(1) 第37回特別企画展「カイジュウ博 2023ー海で暮らす仲間たちー」.....	4	II. 利用状況.....	43
(2) 企画展.....	9	1. 入館者.....	43
(3) トピック展示.....	9	(1) 自然史博物館利用統計.....	43
(4) 博物館のウラワザ.....	10	(2) 入館者種別.....	44
(5) 大型映像.....	10	(3) ホームページ閲覧者数.....	45
(6) 東三河ジオ資源活用推進事業.....	12	(4) 石巻自然科学資料館入館者状況.....	46
(7) ワークショップ・展示解説会など.....	13	III. 組織及び運営.....	47
(8) 総合動植物公園関連イベント.....	15	1. 組織.....	47
(9) 第19回自然史博物館自由研究展.....	16	(1) 運営組織.....	47
(10) 自由研究相談.....	17	(2) 自然史博物館職員.....	47
(11) 市民からの質問等対応.....	18	2. 博物館の使用料等.....	48
(12) 小中高等学校等の学習支援.....	18	3. 決算.....	49
(13) 博物館実習生等の受入れ.....	20	(1) 令和5年度歳入歳出決算見込.....	49
(14) 研修等の受入れ.....	21	4. 豊橋市自然史博物館協議会.....	50
(15) 出版活動.....	22	5. 各種委員会.....	51
(16) 連携・共催事業等.....	22	(1) 豊橋市自然史博物館資料収集委員会	51
(17) 講師・委員の派遣等.....	23	(2) 豊橋市自然史博物館研究委員会.....	51
(18) ふるさと寄附体験型返礼品.....	25	(3) 豊橋市自然史博物館大型映像番組選 定委員会.....	51
3. 学会等の開催.....	26	6. 自然史博物館ボランティア.....	52
(1) 日本動物分類学会第58回大会.....	26	IV. 条例、規則、要綱.....	54
4. 調査研究活動.....	27	V. 自然史博物館の概要.....	61
(1) 令和5年度博物館職員の学術活動等	27		
(2) 外部研究資金助成等の獲得.....	33		
5. 資料の収集・保管活動.....	34		
(1) 採集資料.....	34		
(2) 寄贈資料.....	34		
(3) 収蔵資料状況.....	37		
(4) 剥製等の製作委託.....	37		
(5) 外部研究者の資料利用.....	37		
(6) 資料及び標本の貸出・借用.....	38		
(7) 図書.....	40		
6. 施設整備.....	42		

I. 年間事業

1. 令和5年度のあゆみ

- 5.4.1 大型映像「恐竜超世界 - 受け継がれるいのち - 3D・2D 版」他 (～6.18)
- 4.15 企画展「新蔵資料／学芸員の研究成果紹介展」(～5.14)
- 5.1 臨時開館
- 5.1 トピック展示「総合動植物公園内で見られるセミ」(～5.28)
- 5.8 新型コロナウイルス感染症 5 類に移行
- 5.13 博物館ボランティア総会
- 5.20 企画展「汐川干潟のウナギ展」(～6.25)
- 5.30 トピック展示「総合動植物公園内で見られるカタツムリ」(～7.21)
- 6.3 日本動物分類学会第 58 回大会(～6.4)
- 6.4 日本動物分類学会普及講演会「泥干潟の生き物たちの絶滅の危機: 博物館に保存されていたゴカイの標本からわかったこと」
- 6.9 第 1 回自然史博物館研究委員会
- 7.1 新型コロナウイルス感染症 5 類に移行によりボランティア・ガイドツアー再開
- 7.14 第 37 回特別企画展「カイジュウ博 2023—海で暮らす仲間たち—」(～9.3)
- 7.21 第 1 回自然史博物館協議会
- 7.21 ナイト ZOO (～9.30)
- 7.22 特別企画展開催記念トークショー「コリコ田中さんと学ぶ! 豊橋のくじら～海洋プラごみから海を守ろう～」
- 7.22 トピック展示「総合動植物公園内で見られるセミ」(～6.3.31)
- 7.28 博物館実習生の受入れ (～8.4)
- 7.29 特別企画展開催記念講演会①「渥美半島表浜の漂着物」
- 8.5 特別企画展開催記念講演会②「海岸に

- 打ち上がるくじらからのメッセージ」
- 8.8 インターンシップの受入れ (～9.3)
- 8.14 臨時開館
- 8.15 臨時閉館
- 10.3 大型映像「新オーロラを見た恐竜たち 3D・2D 版」、「ディノグライダー 2D 版」(～6.2.29)
- 10.5 第 2 回自然史博物館研究委員会 (～10.13)
- 11.3 第 19 回自然史博物館自由研究展 (～11.26)
- 11.11 第 19 回自然史博物館自由研究展表彰式
- 11.18 名古屋大学出前授業①「地層はタイムカプセル」
- 11.19 名古屋大学出前授業②「伊豆・小笠原海溝最深部への潜航」
- 11.25 名古屋大学出前授業③「巨大翼竜は飛べたのか?」
- 12.14 恐竜大掃除
- 12.16 企画展「干支展 竜」(～6.1.21)
- 6.2.16 第 3 回自然史博物館研究委員会
- 2.27 第 2 回自然史博物館協議会
- 3.1 大型映像「ティラノサウルス 3D・2D 版」、「アニマルキングダム 2D 版」(～6.16)
- 3.8 園内防災訓練
- 3.15 トピック展示「生物多様性と外来種」(～3.31)
- 3.25 臨時開館

(1) 第 37 回特別企画展「カイジウ博 2023
—海で暮らす仲間たち—」

開催期間：令和5年7月14日（金）

～9月3日（日）45日間

会 場：特別企画展示室（約 600 m²）

主 催：豐橋市自然史博物館

概要：自然史博物館がこれまでに収集してきた渥美半島沿岸に漂着した数多くのクジラの標本を初公開するとともに、迫力満点の巨大クジラの頭骨(2.3m) やアシカ・ラッコの剥製などの標本を通して、カイジュウ(=海棲哺乳類)の多様性、カイジュウと日本人との関係について紹介した。また、カイジュウを始めとする海棲生物の生存を脅かしている海洋プラスチックごみの現状についても紹介した。

展示点数：約 250 点



【展示構成】

1. 渥美半島に流れ着いた生物たち

渥美半島の海岸に流れ着いた様々な漂着物を紹介するとともに、豊橋周辺の海岸へ漂着した鯨類を紹介。

＜主な展示物＞

オウムガイ・ヤシの実等の黒潮により運ばれた南国由来の漂着物、マッコウクジラ骨格（2015年豊橋市高塚町漂着）、クジラ解体用器具、漂着鯨類回収時の動画等。



2. 海獣—海に生きる哺乳類—

鯨類等の海獣の多様性と海洋環境への適応・
進化を剥製や骨格標本を用いて紹介。

＜主な展示物＞

セミクジラ頭骨、シャチ頭骨、シロナガスクジラ腰椎、ナガスクジラのクジラヒゲ、竜涎香、アカボウクジラ胃プラストネーション、セイウチ頭骨、ラッコ全身骨格・剥製、シロイルカ出産時動画、スナメリ生態動画等。



3. 海獣たちと共に

日本人が様々な形で海獣を利用していることを、貝塚出土の海獣類の骨、鯨肉を用いた食料品のパッケージや鯨骨・クジラヒゲを素材と

した加工品等を展示して紹介。また、我が国の捕鯨史をパネルや映像資料を用いて紹介。

＜主な展示物＞

保美貝塚出土ニホンアシカ骨格、同鯨骨製骨器、願照寺所蔵ヒゲクジラ下顎骨、鯨骨・歯を素材とした道具、捕鯨操業動画。



4. 海の仲間たちが危ない

海洋プラスチックごみが海棲生物の生存や海洋生態系に大きな影響を与えていることを紹介。また、プラスチック代替素材を用いた製品を展示し、海洋プラスチックごみ削減に向けた取り組みを紹介。

＜主な展示物＞

漂着プラスチックゴミ、オウギハクジラ胃内容物、アホウドリ胃内容物、海洋プラごみ利用文房具等。



【関連行事】

①特別企画展開催記念講演会Ⅰ「渥美半島表浜の漂着物」

講 師：漂着物学会員 林 重雄さん

期 日：令和5年7月29日（土）

参加者：50人

内 容：漂着物観察の魅力と楽しさを紹介するとともに、漂着物から分かる海洋環境の変遷について講演。

②特別企画展開催記念講演会Ⅱ「海岸に打ち上がるくじらからのメッセージ」

講 師：国立科学博物館研究主幹 田島木綿子さん

期 日：令和5年8月5日（土）

参加者：74人

内 容：漂着鯨類の研究を通して明らかになったそれらの生態と海洋プラスチックごみによる海洋汚染の現状を紹介。



③ワークショップⅠ「砂の中から微小貝を探そう」

講 師：西 浩孝（当館主任学芸員）

期 日：令和5年8月1日（火）

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：31人

内 容：貝殻の入った砂の中から小さな貝を探し出して観察。

④ワークショップⅡ「チリモン探し体験」

講 師：坂本博一（当館館長）

期 日：令和5年8月2日（水）

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：85人

内 容：シラスに混じって漁獲された小さな生物を観察。

⑤ワークショップⅢ「クジラの骨を洗おう」

講 師：安井謙介（当館主任学芸員）
期 日：令和5年8月11日（金・祝）
場 所：自然史博物館 学習室・ピロティ
参加者：10人
内 容：骨格標本作製中のマッコウクジラの洗骨。

⑥ワークショップⅣ「クジラの骨を洗おう」

講 師：安井謙介（当館主任学芸員）
期 日：令和5年8月19日（土）
場 所：自然史博物館 学習室・ピロティ
参加者：10人
内 容：骨格標本作製中のマッコウクジラの洗骨。



⑦とよはし版 GIGA スクール事業 オンラインリアルタイム授業

講 師：安井謙介（当館主任学芸員）
期 日：令和5年10月5日（木）
場 所：オンラインで繋いだ自然史博物館及び豊橋市内市立小学校
参加者：2,783人
内 容：特別企画展展示室内で収録した展示解説及び海洋環境問題に関する動画視聴後に担当学芸員と参加児童による質疑応答を実施。

⑧展示解説会

実施日	担当	参加者数（人）
7/16（日）	安井	53

7/23（日）	西	28
7/30（日）	安井	19
8/12（土）	安井	43
8/20（日）	安井	37
8/27（日）	西	38
8/31（木）	安井	36
9/1（金）	安井	10
9/2（土）	安井	53
9/3（日）	安井	130

【連携行事】

トークショー「ココリコ田中さんと学ぶ！豊橋のくじら～海洋プラごみから海を守ろう～」
連携先：豊橋市環境部ゼロカーボンシティ推進課

講 師：田中直樹さん（ココリコ）・安井謙介（当館主任学芸員）

期 日：令和5年7月22日（土）

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：60人

内 容：豊橋に漂着する鯨類と海洋プラスチックごみに関するトークショーを実施した。また、トークショーと特別企画展展示案内をまとめた映像番組を作成し、BS よしもとで放送するとともに YouTube で配信。

【事業費】

総事業費 14,213,000 円（予算額）

11,838,835 円（決算額）

※海の学びミュージアムサポート事業として、公益財団法人日本海事科学振興財団船の科学館から支援を受けて実施した。

【観覧者数】

有料 6,696 人（観覧料 4,216,060 円）

無料 4,163 人

合計 10,859 人

（1 日平均 241 人）

月別観覧者数 (人)

月	日数	有料	無料	計
7月	15日間	1,341	1,125	2,466
8月	27日間	4,531	2,495	7,026
9月	3日間	824	543	1,367
計	45日間	6,696	4,163	10,859

【観覧料】

大人：700円 小中学生：300円

【印刷物】

- ・ポスター B2カラー (2,000枚)
- ・広報用チラシ A4カラー (100,000枚)
- ・招待券 カラー (2,000枚)
- ・展示解説書 A4カラー (700部)

【SNSでの広報】

- ・公式Xへ50回投稿
- ・公式Facebookページへ9回投稿

【協力者・協力機関】

(個人) 青木弘幸、浅原正和、天野敏規、有菌幸子、安藤佑介、一澤 圭、一島啓人、井上直子、岩瀬彰利、岩見恭子、薄井 誠、大池辰也、大枝 亮、大谷育人、大野晶寛、大場 可、大曲佳世、岡村太路、岡本 慶、小田美紀、加藤秀弘、金田有真、川田伸一郎、神田育子、神田幸司、木谷良平、北村淳一、木村敏之、木村洋介、久場朋子、久保 好、後藤祥子、櫻井敬人、塩崎 彬、柴田俊史、清水俊輝、白藤謙一、関谷伸一、帝釈 元、高見一利、竹本 敦、田島木綿子、田中豊美、田村香里、田村 力、土田正弘、寺田知功、主森 亘、富田直樹、中江 環、永田 孝、永田 靖、中村 彰、中村 玄、中村文哉、夏目崇匡、西間庭恵子、橋本顕嗣、長谷川真理、林 重雄、早武真理子、平野晴野、福井孝和、船坂徳子、古山 歩、本田泰敏、牧

野伸一、増山禎之、松岡廣繁、松野弘美、松村直人、丸山啓志、美沢祐紀、宮 正樹、宮川尚子、村上勝志、茂越敏弘、森 健人、森阪匡通、八木原風、山田 格、吉岡 基、吉川博章、吉川雅己、吉村清和、渡邊菜美、渡辺幸久、渡邊芳美 (五十音順、敬称略)

(団体) 愛知県農業水産局水産課、愛知県東三河建設事務所、愛知県三河港務所、あかばね塾、伊勢・三河湾ストランディングネットワーク、一般財団法人沖縄美ら島財団、一般財団法人日本鯨類研究所、一般財団法人日本捕鯨協会、株式会社イクモ、株式会社サイエンス・クリエイト、株式会社サンヨネ、株式会社日経ナショナルラジオグラフィック、蒲郡市博物館、共同船舶株式会社、京都大学大学院理学研究科地質学鉱物学教室、公益財団法人山階鳥類研究所、国立科学博物館、国立研究開発法人海洋研究開発機構、湖西市、浄土真宗大谷派願照寺、太地町立くじらの博物館、太地町歴史資料室、田原市、田原市教育委員会、田原市博物館、千葉県立中央博物館、東京海洋大学鯨類学研究室、東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム、鳥取県立博物館、鳥羽水族館、豊橋市環境部ゼロカーボンシティ推進課、豊橋市産業部農業支援課、豊橋市自然史博物館ボランティア、豊橋市文化・スポーツ部図書館、豊橋総合動植物公園、名古屋港水族館、名古屋市東山動植物園、腹びれイルカ「はるか」研究プロジェクト、漂着物学会、福井県立恐竜博物館、まっ工房、三重大学大学院生物資源学研究科、瑞浪市化石博物館、南知多ビーチランド (五十音順、敬称略)

【特別協力】

船の科学館「海の学びミュージアムサポート」

[illegible]

(2) 企画展

1) 新蔵資料／学芸員の研究成果紹介展

開催期間：令和5年4月15日（土）～5月14日（日） 30日間

会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

概要：博物館に新たに収蔵された資料、学芸員の昨年の研究成果などを紹介。

会期中入場者数：83,437 人

2) 汐川干潟のウナギ展

開催期間：令和5年5月20日（土）～6月25日（日） 37日間

会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

概要：過去3年間に汐川干潟で行われた天然うなぎを始めとする水生生物のモニタリング調査の成果を展示。

会期中入場者数：56,904 人



3) 干支展「竜」

開催期間：令和5年12月16日（土）～令和6年1月21日（日） 37日間

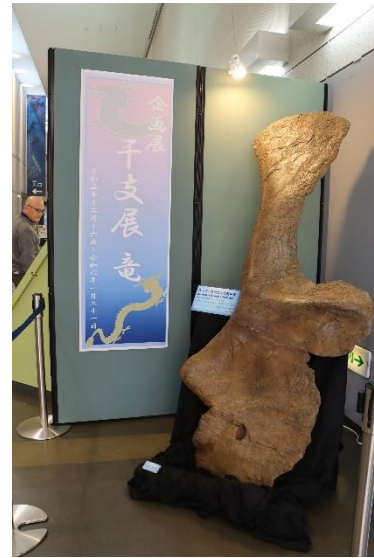
会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

共催：浜松市博物館

概要：2024年は辰年。恐竜をはじめ、干支の生きものにまつわるいろいろな標本や玩具・民俗資料等を紹介。

会期中入場者数：47,233 人



(3) トピック展示

1) 総合動植物公園内で見られるセミ

開催期間：令和5年4月1日（土）～5月28日（日）、7月22日（土）～令和6年3月31日（日） 267日間

会場：ミュージアムショップ横

概要：「園内いきものガイド」で紹介しているセミの実物の展示と「園内いきものガイド」の配布。

会期中入場者数：594,377 人

2) 総合動植物公園内で見られるカタツムリ

開催期間：令和5年5月30日（火）～7月21日（金） 46日間

会場：ミュージアムショップ横

概要：「園内いきものガイド」で紹介しているカタツムリの実物の展示と「園内いきものガイド」の配布。

会期中入場者数：49,091 人

3) 生物多様性と外来種

開催期間：令和6年3月15日（金）～3月31日（日） 16日間

会場：自然史スクエア

概要：外来種のオオバナミズキンバイやツ

ヤハダゴマダラカミキリ、学芸員の研究成果として北海道から見つかったタカネセダカヤセバチについて紹介。

会期中入場者数：41,428 人

(4) 博物館のウラワザ

平成 30 年度の企画展で製作した博物館資料作製作ブースを自然史スクエアに設置。月替わりで、分野ごとの資料作製作を展示した。

日時：土・日曜日（隔週） 13:30～14:30

月	分野
4～5 月	岩石・鉱物
6 月	貝類
7～9 月	昆虫
10～11 月	魚類
12 月	脊椎動物
1～2 月	化石
3 月	植物

(5) 大型映像

1) 上映状況

①上映期間 令和 5 年 4 月 1 日（土）～6 月 18 日（日）

【通常上映】

「恐竜超世界」

3D 版・2D 版（35 分）

「海竜王モササウルス」2D 版（38 分）

【期間限定上映】（4/29～5/7）

「かいけつゾロリまもるぜ！きょうりゅうのたまご」2D 版（40 分）

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
恐竜超世界 3D 版	700	300
恐竜超世界 2D 版	500	200
海竜王モササウルス 2D 版	500	200

かいけつゾロリまもるぜ！きょうりゅうのたまご 2D 版	400	200
-----------------------------	-----	-----

②上映期間 令和 5 年 10 月 3 日～令和 6 年 2 月 29 日

【通常上映】

「新オーロラを見た恐竜たち」3D 版・2D 版（35 分）

「ディノグライダー」2D 版（35 分）

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
新オーロラを見た恐竜たち 3D 版	800	400
新オーロラを見た恐竜たち 2D 版	600	300
ディノグライダー 2D 版	600	300

③上映期間 令和 6 年 3 月 1 日（金）～令和 6 年 3 月 31 日（日）

【通常上映】

「ティラノサウルス」3D 版・2D 版（35 分）

「アニマルキングダム」3D 版・2D 版（35 分）

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
ティラノサウルス 3D 版	800	400
ティラノサウルス 2D 版	600	300
アニマルキングダム 3D 版	800	400
アニマルキングダム 2D 版	600	300

令和5年度 大型映像観覧者数（上映回数は925回）

区 分		上映(開場) 日数	観覧者 総数 (人)	会期中の 入館者数 (人) (※1)	観覧率	年間優待券 (購入) (円) (※2)	観覧料 (円)
4/1～6/18 恐竜超世界 他2作品	4月	26日間	4,042	62,364	6.5%	103,000	1,089,320
	5月	27日間	4,464	79,158	5.6%	98,500	1,300,300
	6月	16日間	1,472	20,867	7.1%	190,000	492,300
【大型映像】 前期		小計	9,978	162,389	6.1%	391,500	2,881,920
10/3～2/29 新オーロラを見 た恐竜たち 他1作品	10月	25日間	3,609	48,399	7.5%	185,500	1,097,500
	11月	26日間	4,489	57,692	7.8%	113,000	995,600
	12月	24日間	1,591	25,925	6.1%	71,000	541,900
	1月	26日間	3,137	43,082	7.3%	119,000	1,065,100
3/1～3/31 ティラノサウル ス 他1作品	2月	25日間	2,832	39,327	7.2%	118,500	936,400
	3月	28日間	5,232	61,354	8.5%	193,000	1,531,680
【大型映像】 後期		小計	20,890	275,779	7.6%	800,000	6,168,180
合 計		223日間	30,868	438,168	7.0%	1,191,500	9,050,100

※1 上映していない期間を除く

※2 特別企画展準備期間の年間優待券の売上は6月、終了後の売上は10月に含める。

(6) 東三河ジオ資源活用推進事業

東三河には多くの特徴的な地形、地質が存在する。自然史博物館では、これらを保全・保護し、観光資源として生かす「ジオパーク」の認定を目指す活動に取り組んできた。だが、新型コロナウイルス感染症の影響による活動の停滞や認定要件の難化等を受け、新たな枠組みでの活動を目指し、令和4年度末日をもって「東三河ジオパーク構想推進準備会」は廃止された。

令和5年度から、新城市に事務局を置く「東三河ジオ資源活用推進連絡会」の名称で、東三河8市町村が連携して教育、観光の両面からジオ資源を活用する取り組みを強化した組織が発足し事業を開始した。

活用推進連絡会では、12月10日にワークショップ「川原の石で石器づくり」を開催し、「愛知・東三河を体感 東三河ジオ資源パンフレット」を新たに作成した。また、ジオガイドの育成等に取り組んだ。

博物館独自の取り組みとしては、教育普及事業の一環としてジオツアーを2回開催した。

1) ジオツアーの開催

新たなジオのみどころの開発や、新規顧客の獲得を目的としたジオツアーを令和5年度は2回開催し、計26人が参加した。

ジオツアー①「川原の石はどこから？」

講師：加藤千茶子（当館学芸専門員）

期 日：令和5年7月29日（土）

場 所：新城市、設楽町ほか

参加者：18人

内 容：豊川の川原に集まる石のルーツを
探る。

ジオツアー②「東三河砂紀行」

講師：加藤千茶子（当館学芸専門員）、一
田昌宏（当館主任学芸員）

期 日：令和6年1月27日（土）

場 所：田原市、豊橋市

参加者：8人

内 容：表浜の砂浜など身近な砂の世界を
探る。

2) 東三河ジオ資源活用推進連絡会

第1回

期 日：令和5年6月1日（木）

場 所：新城市役所

出席職員：坂本博一、加藤千茶子

第2回

期 日：令和5年9月22日（金）

場 所：書面開催

ワークショップ「川原の石で石器づくり」

期 日：令和5年12月10日

場 所：新城市内

3) ジオ資源活用作業部会

第1回

期 日：令和5年6月30日（金）

場 所：新城市役所

出席委員：加藤千茶子

第2回

期 日：令和5年9月7日（木）

場 所：新城市役所

出席委員：加藤千茶子

第3回

期 日：令和5年9月28日（木）

場 所：新城・豊川市内（連絡会主催ワー
クショップ下見）

出席委員：加藤千茶子

第4回

期 日：令和5年11月9日（木）

場 所：新城市役所

出席委員：加藤千茶子

第5回

期 日：令和6年3月6日（水）

場 所：新城市役所

出席委員：加藤千茶子

4) ジオガイド運営委員会

開催期日：令和5年4月21日、5月13日（総会・見学研修）、6月16日、8月18日、10月6日（地区別研修）、10月20日（全体研修）、令和6年2月17日（地区別研修）、3月22日

開催場所：新城市鳳来寺山自然科学博物館及び研修会現地等

出席職員：加藤千茶子

(7) ワークショップ・展示解説会など

地学や生物学などの自然科学に親しみ基本的な知識が得られる入門講座として、開館時から毎年開催している。令和5年度は、講演会、ワークショップ、解説会、収蔵庫見学会、名古屋大学出

前授業を開催した。

1) 講演会

①未来へ残す標本の仕事

講 師：岩見恭子さん（山階鳥類研究所研究員）

期 日：令和6年1月7日（日）

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：49人

内 容：博物館の標本収集とそれにまつわる仕事について、鳥類標本を例に紹介。

②パレオパラドキシアが見たみずなみのうみべ

講 師：安藤佑介さん（瑞浪市化石博物館学芸員）

期 日：令和6年1月8日（月・祝）

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：47人

内 容：パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本や瑞浪市が海だったころについて紹介。

2) ワークショップ

名称	期日	参加者 (人)	担当学芸員	場所	内容
石巻山で植物を観察しよう	5/20	4	稗田真也	石巻山	石巻山の植物を観察。
石巻山でカタツムリを観察しよう	7/8	17	西 浩孝	石巻山	石巻山でのみ見られるカタツムリ等を観察。
虫と遊ぼう	6/11	150	菊地波輝 長谷川道明	当館自然史スクエア	生きている昆虫を使って、生態等を紹介。
潮干狩りで生きものを探そう	6/17	21	西 浩孝	前芝海岸	干潟の貝類やカニを観察し、生態系を紹介。
外来魚調査隊	7/26	30	坂本博一	向山大池	ため池で外来魚調査を行い、見分け方等を紹介。
顕微鏡で宝石探し	8/4	37	丹羽美春	当館講堂	顕微鏡で砂や石の中から宝石を探した。
小さな鉱物をしらべてみよう	8/11	16	加藤千茶子	当館講堂	砂礫中から鉱物を取り出し、実験を交え特徴を探った。

スズメバチの巣を解体してみよう	11/5	117	長谷川道明	当館	スズメバチの巣を解体し巣のしくみを観察。
-----------------	------	-----	-------	----	----------------------



▲石巻山でカタツムリを観察しよう (7/8)



▲顕微鏡で宝石探し (8/4)

3) 解説会・収蔵庫見学会

学芸員がそれぞれの専門分野について、博物館内で行う解説会と収蔵庫見学会。申込及び参加不要。
令和5年度は9回開催し、214人が参加した。

名称	期日	参加者 (人)	担当学芸員
すきまに生える植物入門	4/8	7	稗田真也
古生代展示室化石解説 その1	4/16	62	一田昌宏
収蔵庫見学会 (昆虫)	10/21	14	菊地波輝、長谷川道明
収蔵庫見学会 (魚類)	11/3	20	坂本博一
収蔵庫見学会 (貝類)	12/2	11	西 浩孝
収蔵庫見学会 (植物)	12/9	4	稗田真也
収蔵庫見学会 (岩石・鉱物)	1/7	24	加藤千茶子
収蔵庫見学会 (化石)	2/25	30	一田昌宏
古生代展示室化石解説 その2	3/20	42	一田昌宏



▲すきまに生える植物入門 (4/8)



▲収蔵庫見学会 (魚類) (11/3)

4) 名古屋大学出前授業 in 豊橋 2023

平成 26 年度からあいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク事業として、名古屋大学が取り組む第一線研究について紹介するサイエンス・トーク「名古屋大学出前授業 in 豊橋」を開催している。

名 称	期日	参加者 (人)	講師	内容
地層はタイムカプセル	11/18	34	高橋 聡さん (名古屋大学准教授)	地層から過去の地球の様子を読み取る手法を紹介。
伊豆・小笠原海溝最深部への潜航	11/19	31	道林克禎さん (名古屋大学教授)	日本人最深部潜航記録はどのように達成されたかを紹介。
巨大翼竜は飛べたのか？	11/25	46	後藤佑介さん (名古屋大学特任助教)	鳥と翼竜の飛行能力について、最新の研究成果を紹介。

5) JR ワークショップ

JR 東海ツアーズと協働し、旅のコンテンツポータルで体験型旅行プランを造成した。

①チリモンコレクターをめざそう！ in 豊橋市自然史博物館

講 師：坂本博一（当館館長）

期 日：令和 5 年 7 月 9 日（土）、8 月 11 日（木・祝）、10 月 9 日（日）

場 所：自然史博物館

参加者：17 人

内 容：シラスに混じって漁獲された小さな生きものを探した。また、収蔵庫見学も行った。

②太古の時代にタイムスリップ！化石クリーニング体験 三葉虫 ver.in 豊橋市自然史博物館

講 師：加藤千茶子（当館学芸専門員）・一田昌宏（当館学芸員）・丹羽美春（当館学芸員）

期 日：令和 5 年 11 月 12 日（土）、13 日（日）、12 月 24 日（土）、25 日（日）、1 月 7 日（土）、21 日（土）、2 月 18 日（土）、19 日（日）、23 日（木・祝）、3 月 4 日（土）、5 日（日）

(8) 総合動植物公園関連イベント

1) ナイト ZOO

のんびいパークのナイト ZOO の開催に合わせ、常設展及び特別企画展の夜間観覧を行った。

開催期日：①ナイトミュージアムに同じ

開催時間：午後 5 時～午後 9 時

日中の開館時間：午前 9 時～午後 4 時

①ナイトミュージアム

常設展の照明を全て落とし、海生生物化石を青色ライトアップし、懐中電灯を持って館内を探検できるイベントを開催した。

参加費：小学生以上 100 円

回数：32 回

参加者数：19,547 人

期日	有料参加者数 (人)	累計	備考
7/21	149	149	
7/22	269	418	
7/23	277	695	
7/28	222	917	
7/29	394	1,311	
7/30	289	1,600	
8/4	248	1,848	
8/5	663	2,511	
8/6	0	2,511	中止

8/11	893	3,404	
8/12	959	4,363	
8/13	722	5,085	
8/14	0	5,085	中止
8/15	0	5,085	中止
8/16	449	5,534	
8/17	700	6,234	
8/18	661	6,895	
8/19	928	7,823	
8/20	957	8,780	
8/25	369	9,149	
8/26	796	9,945	
8/27	744	10,689	
9/2	1,006	11,695	
9/3	567	12,262	
9/9	1,284	13,546	
9/10	407	13,953	
9/16	1,056	15,009	
9/17	1,166	16,175	
9/18	537	16,712	
9/23	1,026	17,738	
9/24	695	18,433	
9/30	1,114	19,547	

②ナイト ZOO 探検キット

動物園と自然史博物館を回りキーワードを集めるラリーイベントを開催した。

参加費：500 円

定 員：各日 500 人

③特別企画展「カイジュウ博 2023ー海で暮らす仲間たちー」

ナイト ZOO でも特別企画展を観覧できるようにした。

ナイト ZOO 期間中の特別企画展観覧者（人）

	大人	小・中学生	無料	計
7 月	240	79	98	417
8 月	1027	331	153	1511

9 月	203	38	58	299
計	1470	448	309	2227

2) キャンパス DAY

学生の春休み・卒業シーズンに合わせ、学生は豊橋総合動植物公園入園無料、大型映像観覧無料にした。

期間：令和 6 年 3 月 1 日（金）～3 月 31 日（日）

対象：大学生（大学院生）、短大生、各種専門学校生、高校生

キャンパス DAY 大型映像観覧者：323 人

（9）第 19 回自然史博物館自由研究展

生物や地学をテーマにした市内の小・中学生の優れた自由研究作品を表彰・展示するため、平成 17 年度より開催。賞の選考は、児童・生徒が夏休みの課題として学校に提出した自由研究の中から優秀作品を各校が選出（学校規模により各校 3～4 点）。それを自然史博物館の学芸員と市内小中学校教員から構成される研究委員会の審査により各賞を選考する。

開催期間：令和 5 年 11 月 3 日（金）～11 月 26 日（日）

表彰式・優秀作品発表会：令和 5 年 11 月 11 日（土）13：00～14：00

会 場：イントロホール、自然史スクエア他
応募総数：186 点（小学校 51 校 142 点、中学校 20 校 44 点）

※市内小中学校各校から 3 点以内を選抜して応募。ただし小学校 24 クラス以上、中学校 18 クラス以上の場合は 4 作品以内とした。

<入賞作品>

○最優秀賞

【小学生】

向山小学校 6 年 中西 輝

「ネギの根圏と周辺の土壌における抗真菌作用～コンパニンプランツは畑のお医者さん

～」

【中学生】

豊岡中学校 2年 鈴木朱音

「アリの研究 PART6 ～アリは何故巣に帰れるの?～」

○優秀賞

【小学生】

牛川小学校 5年 平尾知士

「イモムシの観察 Part 3 どうしたら越冬蛹になるか」

高根小学校 2年 小野陽菜梨

「しばふからみみずをおいだせ! ひまり VS みみず たたかいの 60 日」

高根小学校 5年 吉田詩野

「ダンゴムシに記憶力はあるのか」

【中学生】

本郷中学校 1年 稲田 凌

「オカヤドカリ V オカヤドカリの成長に不可欠な要素とは?」

○奨励賞

【小学生】

津田小学校 6年 小原晴臣

「カブトムシが昼に休み夜に活動するのは、光を感じているためか。」

栄小学校 5年 加藤翔也

「鎧竜「ズール」のすごさとは～化石までの第一歩～」

八町小学校 5年 杉浦遥人

「豊川のマハゼの生態調査と体のしくみ」

東田小学校 1年 外山結誠

「ヤドカリのあるきかた」

豊小学校 2年 河合祐依

「だれもしらない ありの1ばんすきなたべものは…〇〇だった!!」

八町小学校 4年 渥美竹尋

「び生物の種類を調べよう!!」

花田小学校 3年 藤城波瑠

「家のまわり等のざっ草しらべPart2」

【中学生】

高師台中学校 3年 中本さくら

「とうもろこしの研究」

○入選

【小学生】

羽根井小学校 4年 中島雪乃

「外来生物マップ」

汐田小学校 4年 寺井文哉

「ヒヨドリの鳥の巣大解体」

松葉小学校 6年 伊藤優風

「植物は食塩水を与えても成長できるのだろうか? ～アイスプラント VS かいわれ大根～」

旭小学校 6年 古田真志

「アゲハのピンチを救え! ～外来種アカボシゴマダラの在来種への影響～」

牟呂小学校 3年 鈴木絢巳

「カマキリの成長かていと学習のう力」

磯辺小学校 6年 井上優誠

「哺乳類の足の構造を知ろう!」

高師小学校 2年 吉川充花

「ダンゴムシの研究 どうしてダンゴムシはふでばこでかえなかったのかを調べてみた!」

西郷小学校 6年 稲垣優空

「エビはなぜ曲がるのか。～お店のような真直ぐなエビフライを作ろう～」

二川南小学校 5年 紅林菜子

「どれだけとぶの? ショウリョウバッタ」

谷川小学校 4年 石田彩海

「カイコのまゆから糸をとってみよう」

花田小学校 2年 西山彩菜

「きょうりゅうのほねはどうなってるの? 足のほねをしらべてみた」

【中学生】

二川中学校 2年 前田旭陽

「オオカマキリは夜行性? 昼行性?」

南部中学校 3年 高田ゆり乃

「ラディッシュのいろいろな環境条件による成育の違いと味(糖度)の違い」

(10) 自由研究相談

開催期間: 夏休み期間

内 容: 事前申込みを受けた小・中学生を対

象に担当分野の学芸員が自由研究のテーマや方法について指導。

参加者：18件 35人
(内訳)

分野	件数	参加者 (人)
化石	0	0
岩石	1	2
昆虫	2	2
貝類	2	5
魚類	4	7
脊椎動物	5	13
その他	4	6
テーマ未定	0	0
計※	18	35

※複数分野にまたがる質問があったため、集計すると実際の件数、人数より多くなっている。

(11) 市民からの質問等対応

自然史博物館では、来館、電話、メール等による市民からの質問等について学芸員が対応している。令和5年度の内訳は以下のとおり。

分野	件数	備考
化石	0	
地質岩石	9	
昆虫	2	
貝類	12	
魚類	0	
脊椎動物	6	
植物	1	
その他	0	

(12) 小中高等学校等の学習支援

1) 標本貸出セット

自然史博物館では、平成16年度から「標本貸出セット」を整備し、学校等への貸出を行って

いる。内容は、以下の5つで、それぞれラベルや解説などの資料も添付している。館外貸出は原則、市内小中学校とし、館内での利用は子どもを主体とする1クラス程度までの団体としている。また、学芸員が行う出前授業などにも積極的に利用している。令和5年度の館外貸出は15回1,943人、館内利用は8回322人であった。

化石：古生代から新生代の化石(10セット)、化石レプリカ製作用型4種(20セット)

脊椎動物：肉食と草食動物の頭骨標本3種(10セット)、ネコ全身骨格標本(1セット)、動物の歯レプリカ作製用型(20セット)

ドングリ：ブナ科植物6種のさく葉および堅果標本

昆虫：昆虫標本3種(5セット)、国語の教科書に登場する昆虫(3セット)

岩石：東三河地域の堆積岩10種(10セット)、豊川流域の岩石10種(5セット)、火山灰観察セット(1セット)

標本貸出セット実績① 館外貸出

期間	利用者	内容	人数
5/17～5/20	五並中学校	頭骨セット（ネコ・ウサギ・ヌートリア）、ネコ全身骨格	33
5/23～5/26	豊橋特別支援学校	頭骨標本（ネコ、ウサギ）	1
5/29～6/2	五並中学校	昆虫標本	33
5/29～6/2	豊城中学校	頭骨セット（ネコ・ウサギ・ヌートリア）	102
5/23～5/26	岡崎市立翔南中学校	頭骨標本（ネコ、ウサギ）	231
6/6～6/9	南陽中学校	頭骨セット（ネコ・ウサギ・ヌートリア）	155
5/30～6/10	田原市立田原中学校	頭骨標本（ネコ、ウサギ）	236
6/13～6/20	中部中学校	頭骨標本（イノシシ）	186
9/24	松葉小学校	化石レプリカ製作用型（4種）	300
9/20～9/29	高豊中学校	頭骨セット（ネコ・ウサギ・ヌートリア）	131
10/23～10/30	北部中学校	古生代から新生代の化石（17種）、東三河地域の堆積岩類（10種）	112
10/28～11/3	北部中学校	豊川流域の岩石類	112
11/17～11/28	磯辺小学校	東三河地域の堆積岩類（10種）、火山灰セット	105
2/2～2/9	五並中学校	古生代から新生代の化石（17種）、化石レプリカ製作用型（4種）	33
3/5～3/15	二川中学校	古生代から新生代の化石（17種）、化石レプリカ製作用型（4種）	173

標本貸出セット実績② 館内利用（出前授業など学芸員が館外で解説に使用したものも含む）

期日	利用者	内容	人数
6/14	くすのき特別支援学校	古生代から新生代の化石（17種）	23
9/7	津田小学校	古生代から新生代の化石（17種） 化石レプリカ製作用型（4種）	10
10/11	嵩山小学校	豊川流域の岩石類	9
10/27	東田小学校	豊川流域の岩石類	79
10/31、11/2	北部中学校	東三河地域の堆積岩類（10種）	57
11/9	幸小学校	東三河地域の堆積岩類（10種）	39
11/28	磯辺小学校	東三河地域の堆積岩類（10種） 火山灰セット	104
1/17	豊橋特別支援学校	豊川流域の岩石類 火山灰セット	1

2) 職場体験学習等

主に中学2年生を対象に行われる職業体験学

習として8校から8人を受入れた。博物館の業務概要及び学芸員の仕事について説明した。

期間	学校名	人数
5/30～6/1	二川中学校	1
6/6～6/8	本郷中学校	1
9/5～9/8	吉田方中学校	1
9/12～9/14	豊川市立西部中学校	1
10/24～10/26	豊城中学校	1
10/31～11/2	東部中学校	1
11/28～11/30	牟呂中学校	1
12/12～12/14	羽田中学校	1

3) わくわく体験活動

市内の小・中学校が、教育委員会の計画に基づいて行っている学習（小学校4年生対象）の一環で、当館の見学が選択として取り入れられている。見学にあたっては、各学校で計画を立て、学習の観点をもって実施している。常設展見学のほか、希望により大型映像・特別企画展の観覧、収蔵庫・標本処理室等の学芸員による案内も行っている。

- ・参加校数：13校
- ・参加児童数：1,078人

4) 高等学校・大学等の学習利用

期日	利用者	内容等	人数
8/22	名古屋市立向陽高等学校	スーパーサイエンスハイスクール（SSH）連携講座	30
6/16	人間環境大学人間環境学部	施設見学	14
8/25	人間環境大学人間環境学部	表浜海岸におけるヤマトマダラバットの生息状況調査	14
11/14	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー	学芸員業務を中心にした骨格標本や各生体の違いについて。企画展や展示の工夫	41
11/16 12/7	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー	学芸員業務を中心にした骨格標本や展示方法について	39
12/16	人間環境大学環境科学部	博物館の社会的役割や調査研究事例の紹介	69

5) 授業・学習支援センターへの協力

子どもたちの調べ学習や教師の授業づくりをサポートするために市教育委員会学校教育課が設置している「授業・学習支援センター」の活動に協力した。自然史博物館内にも、自然科学関連の書籍が充実した図書コーナー「山福文庫」が設置されており、配架図書の選定に協力した。

浪越麻里奈さん（多摩美術大学）
戸澤紗代さん（鳥取大学）
田畑創路さん（名古屋芸術大学）
鈴木ひなのさん（愛知大学）
曾我香凜さん（岐阜大学）
松下太一さん（皇學館大学）

②実習日程・内容

期日	内容
7/28	オリエンテーション、博物館展示概論、館内展示レクチャー、博物館資料保存概論
7/29	来館者動線調査準備、来館者動線調査、植物実習

(13) 博物館実習生等の受入れ

1) 令和5年度博物館実習

①実習生（8人）

板倉義空さん（千葉大学）
加藤あゆさん（信州大学）

7/30	植物実習、来館者動線調査、解説会補助
8/1	岩石実習、ワークショップ準備、ワークショップ補助、岩石実習
8/2	ワークショップ準備・補助
8/3	行事補助、昆虫実習
8/4	来館者動線調査・まとめ・発表

2) 大学の博物館学関連実習等

①名城大学

月 日：令和5年8月8日（火）

内 容：博物館実習の見学実習

参加者：29人

(14) 研修等の受入れ

1) インターシップ

①氏 名：萩尾陽奈さん

所 属：桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部3年

期 間：令和5年8月8日（月）～
令和5年8月12日（金）

②氏 名：松原くるみさん

所 属：南山大学人文学部3年

期 間：令和5年8月8日（月）～
令和5年8月12日（金）

③氏 名：汲田蒼葉さん

所 属：愛知教育大学学校教員養成課程3年

期 間：令和5年8月13日（土）～
令和5年8月17日（水）

④氏 名：角 明日香さん

所 属：名城大学農学部3年

期 間：令和5年8月13日（土）～
令和5年8月17日（水）

⑤氏 名：鈴木 葵さん

所 属：南山大学法学部3年

期 間：令和5年8月18日（木）～

令和5年8月23日（火）

⑥氏 名：彦坂咲良さん

所 属：中京大学経営学部3年

期 間：令和5年8月18日（木）～
令和5年8月23日（火）

⑦氏 名：野本千颯さん

所 属：静岡文化芸術大学文化政策学部3年

期 間：令和5年8月24日（水）～
令和5年8月29日（月）

⑧氏 名：名谷雄太郎さん

所 属：愛知大学地域政策学部3年

期 間：令和5年8月24日（水）～
令和5年8月29日（月）

⑨氏 名：菊地 杏さん

所 属：豊橋創造大学短期大学部1年

期 間：令和5年8月30日（水）～
令和5年9月3日（土）

⑩氏 名：加藤瑞生さん

所 属：名城大学農学部3年

期 間：令和5年8月30日（水）～
令和5年9月3日（土）

2) その他

①氏 名：武田利通さん

所 属：トヨタ自動車株式会社

期 間：令和5年6月1日（水）～
令和5年6月4日（土）
令和5年6月17日（金）～
令和5年7月31日（日）

内 容：社員研修の一環として実施

(15) 出版活動

令和5年度に自然史博物館が刊行した出版物は以下のとおりである。

書名・名称	版・頁	部数	発行年月日	配布先	内容等
豊橋市自然史博物館年報第35号	A4 76 頁	—	5.7.20	ホームページ PDF 公開	年間活動報告
豊橋市自然史博物館研究報告 第34号 (ISSN 0917-1703)	A4 18 頁	500	6.3.22	関係機関	研究報告・論文
豊橋市自然史博物館ガイドブック ⑧表浜の自然～渥美半島の成り立ちと砂浜の生きもの～ 第2版	A5 63 頁	600	5.7.4	関係機関・一般 (400 円)	ガイドブック
第37回特別企画展「カイジュウ 博2023—海で暮らす仲間たち—」解説書	A4 56 頁	700	5.7.14	関係機関・一般 (1,000 円)	特別企画展の 解説書

(16) 連携・共催事業等

1) 名古屋芸術大学との連携協定

平成26年度に名古屋芸術大学と締結した連携協定に基づき、令和5年度は下記の連携事業を行った。

博物館職員による講義

- ・「子ども大学」でのワークショップ開催
期 日：令和5年11月5日（日）
場 所：名古屋芸術大学
講 師：安井謙介（当館主任学芸員）
- ・小学校教員養成系科目での講義
期 日：令和5年12月5日（火）
場 所：名古屋芸術大学
講 師：安井謙介（当館主任学芸員）

2) あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク

主催：国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

※東海地方の大学、研究機関、博物館27機関が参加（2024年12月現在）

- ・夏休みあいちサイエンスフェスティバル2023 期間中（令和5年7月21日～8月31日）の自然史博物館行事に参加イベントとして登録
- ・あいちサイエンスフェスティバル2023 期間中（令和5年9月23日～11月27日）の自

然史博物館行事に参加イベントとして登録

- ・「名古屋大学出前授業 in 豊橋」の開催（科学教育センターと共同開催）

3) 企画展「干支展 竜」

協力：浜松市博物館

会場及び展示期間：

- ・豊橋市自然史博物館
令和5年12月16日（土）～令和6年1月21日（日）
- ・浜松市博物館
令和6年1月27日（土）～3月10日（日）
- ・展示数
約200点

4) とよはし科学月間

11月を「とよはし科学月間」として、本市の科学教育関連施設、高校、大学及び企業などが連携して、科学に関する様々な普及イベントを開催し、本市の科学教育の推進に努めた。

参加施設：豊橋市自然史博物館、豊橋市視聴覚教育センター・地下資源館、こども未来館こここ、豊橋科学技術大学など

期間中の自然史博物館開催イベント：

- (1) 自然史博物館自由研究展
- (2) 収蔵庫見学会（魚類）

(3) スズメバチの巣を解体してみよう

リーを実施。

(4) 名古屋大学出前授業 ① ② ③

(17) 講師・委員の派遣等

5) AEL ネット環境学習スタンプラリー

主 催：愛知県環境学習施設等連絡協議会

開催期間：令和 5 年 6 月 21 日（水）～令和 6 年 2 月 23 日（金・祝）

内 容：来館者がスタンプを押すスタンプラ

1) 出前授業

原則として市内の小・中学生を対象に、学校からの要請を受け、学芸員を派遣し授業を行っている。令和 5 年度はのべ 18 校で 32 時限実施し、773 人が受講した。

令和 5 年度出前授業の実施状況（時間延長した授業も 1 時限として集計）

No	学校名	学年	人数	タイトル	時限数	実施日	担当学芸員
1	くすのき特別支援学校	中部 2	23	化石の話	2	6/14	一田
2	松葉小学校	4～6	25	自然観察「守下公園の自然～ようこそ先輩（クラブ）～」	2	6/22	長谷川
3	津田小学校	4～6	10	化石のレプリカ作り	クラブ	9/7	一田
4	飯村小学校	1	91	飯村公園に発生する昆虫に親しもう	3	10/4	長谷川
5	嵩山小学校	5	9	かわらの石のはなし	1	10/11	加藤
6	松葉小学校	4～6	25	身近な昆虫の観察	2	10/12	長谷川
7	杉山小学校	1	15	身近な昆虫の観察	2	10/13	菊地
8	向山小学校	1	59	ダンゴムシについて	1	10/17	西
9	東田小学校	5	79	かわらの石のはなし	3	10/27	丹羽
10	北部中学校	1	29	化石・岩石から過去の豊橋へタイムスリップ！ー大地の変動ー	1	10/31	加藤
11	北部中学校	1	28	化石・岩石から過去の豊橋へタイムスリップ！ー大地の変動ー	1	11/2	加藤
12	幸小学校	6	39	高師小僧って何だろう	1	11/19	加藤
13	磯辺小学校	6	104	大地をつくる石のはなし	3	11/28	加藤
14	県立豊橋特別支援学校	1	1	大地をつくる石のはなし	1	1/17	加藤
15	石巻小学校	4	25	「神の郷 石巻」ルーツを探れ！～石巻マイマイのひみつ～	1	2/2	西
16	東田小学校	5	79	高師小僧って何だろう	3	2/27	加藤
17	東田小学校	5	79	おさかな入門	3	3/5	坂本
18	八町小学校	6	53	絶滅の恐れのある愛知県の動物	2	3/6	長谷川

2) 講義・講演

No	タイトル	依頼元	期日	人数	担当学芸員
1	第27回赤塚山公園自然観察会	豊川市赤塚山公園	6/25	13	西
2	職員指導	群馬県立自然史博物館	7/10～7/11	1	一田
3	豊橋のくじら～海洋プラスチックごみから海を守ろう～	ゼロカーボン推進課	7/22	60	安井
4	高文連自然科学専門部研修会	高文連自然科学専門部	8/3	41	安井
5	トヨッキースクール二川南校区	二川南校区	8/10	37	安井
6	卒業論文教材の実証実験ワークショップ	愛知教育大学	8/12～8/13	1	長谷川
7	ちりめんモンスターを探そう！	刈谷市総合文化センター	8/18	30	坂本
8	スーパーサイエンスハイスクール（SSH）連携講座	名古屋市立向陽高等学校	8/22	30	安井
9	第5ブロック研修会	学校教育課	8/24	113	安井
10	GIGA スクールオンライン授業	教育会館	10/5	2783	安井
11	汐川干潟のウナギ・水生生物モニタリング調査	豊橋市立章南中学校	10/13	87	坂本・西
12	「子ども大学」（名古屋芸術大学祭）	名古屋芸術大学	11/5	10	安井
13	二川駅を起点とした岩屋山のガイド研修	東三河ジオガイド協会	11/6	5	加藤
14	動物の骨格について	ルネサンス・ペット・アカデミー	11/14	41	安井
15	動物の骨格について	ルネサンス・ペット・アカデミー	11/16	19	安井
16	小学校「理科」における自然史博物館の利用	名古屋芸術大学	12/5	30	安井
17	動物の骨格について	ルネサンス・ペット・アカデミー	12/7	20	安井
18	ワークショップ「川原の石で石器づくり」	東三河ジオ資源活用推進連絡会	12/10	27	加藤
19	フィールド生態学基礎実習	人間環境大学環境科学部	12/16	69	長谷川
20	「多米配水場の春を探そう！」ツアー	浄水課	3/31	32	稗田

3) 委員等の委嘱、派遣等

①科学教育推進委員会

委 員：加藤千茶子

期 日：令和5年5月24日（水）

令和5年6月27日（火）

令和5年9月8日（金）

令和5年12月1日（金）

場 所：視聴覚教育センター

②あいちサイエンスフェスティバル 2023 実行

委員会

委 員：丹羽美春

期 日：令和5年5月24日（木）

場 所：リモート会議

出 席：丹羽美春

期 日：令和6年2月29日（木）

場 所：リモート会議

③豊橋市生態系ネットワークづくり懇話会委員

委 員：長谷川道明

期 日：令和5年7月28日（木）

令和5年12月21日（木）

場 所：豊橋市役所

期 日：令和6年1月15日（木）

場 所：豊橋市上下水道局

期 日：令和6年3月21日（木）

場 所：豊橋市役所

④愛知県都市計画審議会環境影響評価調査専門 部会

委 員：長谷川道明

期 日：令和6年3月11日（月）

場 所：愛知県庁

(18) ふるさと寄附体験型返礼品

1) 自然史博物館実施

豊橋市が行っている、ふるさと寄附の体験型返

礼品として、自然史博物館では、令和元年より「化石クリーニング体験」「ジオードクラック体験」を実施している。令和5年度の申込数、実施数は以下の通り。

①化石の調査研究を体験「化石クリーニング体験」

内容：専用の機器を使って、三葉虫などの化石を岩石の中から取り出す作業、クリーニングを学芸員とともに実施。クリーニングした化石は持ち帰ることができる。体験チケットの有効期限は1年。

担当学芸員：一田昌宏

※受付数：10件 申込数：9件 実施数：8人

②鉱物の調査研究を体験「ジオードクラック体験」

内容：専用の機器を使って、学芸員の指導の下、ジオード（晶洞）を割って、中に形成された水晶を取り出す体験。晶洞は持ち帰ることができる。体験チケットの有効期限は1年。

担当学芸員：加藤千茶子・丹羽美春

※受付数：10件 申込数：9件 実施数：10人

2) 豊橋総合動植物公園実施

豊橋市が行っている、ふるさと寄附の体験型返礼品として、のんほいパークでは、のんほいパーク満喫『のんほいサーキットとバックヤードツアー』セット、『園内を巡る！セグウェイとバックヤードツアー』セットを実施している。令和5年度の自然史博物館実施数は以下の通り。

①常設展ガイド

※実施数：0件 参加者数：0人

②収蔵庫ガイド

※実施数：21件 参加者数：51人

③ミクロの世界の観察

※実施数：5件 参加者数：17人

3. 学会等の開催

(1) 日本動物分類学会第 58 回大会

日本動物分類学会の総会・研究発表・普及講演会「泥干潟の生き物たちの絶滅の危機：博物館に保存されていたゴカイの標本からわかったこと」を開催した。

期 日：令和 5 年 6 月 3 日（土）研究発表・総会

令和 5 年 6 月 4 日（日）研究発表・普及講演会

内 容：口頭発表（24 件）、ポスター発表（33 件）、普及講演会（117 人）

大会出席者：94 人

主 催：日本動物分類学会

共 催：豊橋市教育委員会

4. 調査研究活動

(1) 令和5年度博物館職員の学術活動等

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

坂本博一（館長：魚類）

調査研究の主なテーマ

- ・三河地方の魚類相

令和5年度の調査研究テーマ

- ・豊橋市内のため池におけるブルーギルの定着と在来種への影響について
- ・豊橋市内ため池における魚類生息状況
- ・愛知県で水揚げされる板鰈類
- ・愛知県近海産の深海性魚類
- ・東三河沿岸における魚類仔稚魚の食性

1) 論文

(査読なし)

- ①西 浩孝・坂本博一・松岡敬二, 2024. 豊橋市の上唐池と空池で確認された淡水動物. 豊橋市自然史博物館研究報告, (34): 5-10.

2) 普及書等

なし

3) 学会発表等

なし

4) 学会、研究会等への参加

- ①板鰈類シンポジウム 2023,
期日：令和5年12月15日（金）
場所：東京大学大気海洋研究所

5) 調査研究に係る出張

(※公務による県外出張のみを掲載)

なし

加藤千茶子（学芸専門員：岩石・鉱物）

調査研究の主なテーマ

- ・郷土の鉱物岩石相
- ・東三河ジオパーク構想に関する普及事業の開発

令和5年度の調査研究テーマ

- ・豊川流域の岩石分布について
- ・東三河地域のジオサイト候補地調査及びカルテの作成
- ・ジオサイト候補地及びジオパーク構想の普及

事業の開発

- ・高校やジオガイドと連携したジオパーク教育プログラムの開発

1) 論文

なし

2) 普及書等

- ①加藤千茶子, 2023. 趣旨説明. シンポジウム「自然災害はどこまで「想定」できるか」報告書, 2, 東三河ジオパーク構想推進準備会.

3) 学会発表等

なし

4) 学会、研究会等への参加

- ①日本鉱物科学会 2023 年年会・総会
期日：令和5年9月14日（木）～9月16日（土）

場所：オンライン参加

- ②日本地質学会第130年学術大会
期日：令和5年9月17日（日）～9月18日（月）

場所：京都大学

5) 調査研究に係る出張

(※公務による県外出張のみを掲載)

- ①令和6年度特別企画展準備調査
期日：令和5年6月15日（木）
場所：静岡県富士宮市（奇石博物館）
- ②令和6年度特別企画展準備調査
期日：令和5年9月4日（月）～6日（水）
場所：茨城県つくば市（国立科学博物館）、東京都千代田区（諏訪貿易株式会社）

- ③令和6年度特別企画展準備調査
期日：令和5年9月11日（月）
場所：岐阜県瑞浪市（瑞浪鉱物展示館）

- ④令和6年度特別企画展借用資料撮影
期日：令和6年1月9日（火）～11日（木）
場所：茨城県つくば市（国立科学博物館）

- ⑤令和6年度特別企画展借用資料撮影
期日：令和6年1月12日（金）
場所：静岡県富士宮市（奇石博物館）

- ⑥令和6年度特別企画展借用資料撮影
期日：令和6年1月19日（金）

場所：岐阜県瑞浪市（瑞浪鉱物展示館）

安井謙介（主任学芸員：脊椎動物）

調査研究の主なテーマ

- ・日本列島の哺乳動物相の変遷史
- ・豊橋周辺の遺跡産出動物遺体の動物考古学的研究
- ・現生脊椎動物の比較形態学的研究
- ・ストランディング及び海洋漂着物に関する研究
- ・展示・教育普及活動のオリジナルプログラム開発

令和5年度の調査研究テーマ

- ・豊橋市周辺から産出する更新世哺乳類化石について
- ・蜆塚貝塚産出の動物遺体について
- ・渥美半島にストランディングする脊椎動物に関する基礎的調査
- ・日本沿岸の漂着物の動向に関する基礎的研究
- ・東三河地方で得られた脊椎動物資料に関する市民への情報発信

1) 論文

（査読あり）

なし

（査読なし）

- ①安井謙介・増山禎之, 2024. 埋葬犬. 田原市埋蔵文化財調査報告書第14集 渥美半島貝塚群 I 報告編：89-114.

2) 普及書等

- ①安井謙介, 2023. 第37回特別企画展「カイジ ユウ博 2023—海で暮らす仲間たち—」解説書, 56 pp.
- ②安井謙介, 2023. 日本動物分類学会第58回大会報告 2023年6月 豊橋市自然史博物館. タクサ（日本動物分類学会誌）, 55.
- ③安井謙介, 2023. 或る博物館学芸員のたわい無
い話（101）「ヒゲ談」. このはずく（東三河野
鳥同好会会報）, 577：5.
- ④安井謙介, 2023. 或る博物館学芸員のたわい無
い話（102）「残念、無念、また来年」. このは

ずく（東三河野鳥同好会会報）, 578：5.

- ⑤安井謙介, 2023. 或る博物館学芸員のたわい無
い話（103）「この夏、最後のお誘い」. このは
ずく（東三河野鳥同好会会報）, 581：5.
- ⑥安井謙介, 2023. 或る博物館学芸員のたわい無
い話（104）「次に向けて」. このはずく（東三
河野鳥同好会会報）, 582：5.
- ⑦安井謙介, 2023. 或る博物館学芸員のたわい無
い話（105）「近所で楽しむ」. このはずく（東
三河野鳥同好会会報）, 583：5.
- ⑧安井謙介, 2023. 或る博物館学芸員のたわい無
い話（106）「AREより湧いた!? 浪速の2日間」.
このはずく（東三河野鳥同好会会報）, 584：5.
- ⑨安井謙介, 2023. 或る博物館学芸員のたわい無
い話（107）「この一年を振り返って」. このは
ずく（東三河野鳥同好会会報）, 585：5.
- ⑩安井謙介, 2024. 或る博物館学芸員のたわい無
い話（108）「最後の最後まで」. このはずく（東
三河野鳥同好会会報）, 586：5.（予定）
- ⑪安井謙介, 2024. 或る博物館学芸員のたわい無
い話（109）「大きな岐路」. このはずく（東三
河野鳥同好会会報）, 587：5.（予定）

3) 学会発表等

- ①豊橋市自然史博物館（安井謙介）, 2023. 渥美
半島沿岸に漂着した脊椎動物. 展示. ホネホネ
サミット 2023. 10月21-22日, 大阪市立自然
史博物館.

4) 学会、研究会等への参加

（※公務による出張、参加のみ掲載）

- ①ホネホネサミット 2023
期日：令和5年10月20日（金）・21日（土）
場所：大阪市立自然史博物館

5) 調査研究に係る出張

（※公務による県外出張のみを掲載）

- ①豊橋産更新世哺乳類化石等調査
期日：令和6年2月20日（火）～21日（水）
場所：東京（学習院大学）・佐野市（清水学園）
- ②海洋漂着物調査
期日：令和6年3月4日（月）～8日（金）
場所：鹿児島県奄美市

西 浩孝 (主任学芸員：貝類)

調査研究の主なテーマ

- ・陸産貝類の形態の多様化と系統分類
- ・中部地方の貝類相
- ・三河地方の無脊椎動物相
- ・博物館資料の情報公開

令和5年度の調査研究テーマ

- ・ナメクシ類の多様化と進化
- ・五島列島の陸淡水産貝類相
- ・愛知県・宮崎県の貝類相
- ・豊橋市周辺のため池における淡水生貝類の生息状況
- ・三河地方の無脊椎動物相
- ・スマートフォンアプリを活用した生物多様性モニタリング

1) 論文

(査読有)

- ①Hirano, T., Yamazaki, D., Ito, S., Sato, M. P., Matsuo, A., Saito, T., Nishi, H., Ye, B., Dong, Z., Tu, D. V., Shau-Hwai, A. T. Suyama, Y. & Chiba, S. 2023. Reconsidering invasion history of common land snails in Japan through genome-wide analyses. *Biological Invasions*. <https://doi.org/10.1007/s10530-023-03123-2>
- ②Atsumi, K., Nishida, Y., Ushio, M., Nishi, H., Genroku, T. & Fujiki, S. 2024. Boosting biodiversity monitoring using smartphone-driven, rapidly accumulating community-sourced data. *eLife* 13: RP93694. <https://doi.org/10.7554/eLife.93694.1>
(査読なし)
- ①西 浩孝, 2023. 佐久島から確認されたイリエゴウナ. *かきつばた*, (48) : 12-13.
- ②西 浩孝・西 邦雄, 2023. 宮崎県初記録のイソアワモチ. *九州の貝*, (101) : 2-5
- ③西 浩孝, 2023. 対馬に微小ヌマツボ科巻貝を求めて. *九州の貝*, (101) : 25-29.
- ④西 浩孝, 2023. 五島列島で確認されたホラアナミジンナ属の1種およびヒラマキミズマ

イマイ. *九州の貝*, (101) : 30-34.

- ⑤西 浩孝・坂本博一・松岡敬二, 2024. 豊橋市の上唐池と空池で確認された淡水動物. *豊橋市自然史博物館研究報告*, (34) : 5-10.

2) 普及書等

- ①日本貝類学会 (編). 2023. 貝の疑問 50 みんなが知りたいシリーズ 19. 成山堂書店, 新宿, 234 pp. (ISBN-13: 9784425984213) (「世界最大の貝, 最小の貝は何ですか? (32-34)」、「どんな種類のカタツムリがいますか? (82-85)」、「カタツムリは梅雨の時期以外, どこで何をしているのですか? (86-88)」を分担執筆, 編者)

3) 学会発表等

- ①西 浩孝. 五島列島の陸淡水産貝類. 2024 年 1 月 7 日. 名古屋貝類談話会.
- ②○Atsumi, K., Nishida, Y., Ushio, M., Nishi, H., Genroku, T. & Fujiki, S. Boosting biodiversity monitoring using smartphone-driven, rapidly accumulating community-sourced data. 日本生態学会第 71 回全国大会 (横浜国立大学), 2024 年 3 月 16 日.

4) 学会、研究会等への参加

(※公務による出張、参加のみ掲載)

- ①日本貝類学会令和5年度 (創立95周年記念) 大会
期日：令和5年6月24日 (土)
場所：東邦大学理学部 習志野キャンパス

5) 調査研究に係る出張

(※公務による県外出張のみを掲載)

- ①貝類系統解析用調査
期日：令和5年6月27日 (火) ~6月30日 (金)
場所：長崎県五島市・南松浦郡新上五島町
- ②貝類系統解析用調査
期日：令和5年8月29日 (火) ~9月2日 (土)
場所：岐阜県・長野県・富山県
- ③貝類系統解析用調査
期日：令和5年11月8日 (水) ~11月9日

(木)

場所：兵庫県

④令和8年度特別企画展準備調査

期日：令和6年2月15日(木)

場所：埼玉県秩父郡長瀨町(埼玉県立自然の博物館)

一田昌宏(主任学芸員：古生物)

調査研究の主なテーマ

- ・飛騨外縁帯及び黒瀬川帯産出化石の古生物学的研究
- ・付加体及び付加体中の微化石に関する研究
- ・収蔵資料の効果的な利用に資するシステムの構築
- ・異常巻紡錘虫の生態学的研究

令和5年度の調査研究テーマ

- ・一の谷より産出した珪化紡錘虫類 *Hidaella* の3D解析
- ・滋賀県多賀町権現谷の珪化化石の3D解析
- ・ジュラ紀付加体中の重力流起源の炭酸塩堆積物(岐阜県、静岡県)
- ・化石標本のリスト化及び収蔵庫2内での電子地図作製
- ・収蔵用コンテナ及び資料箱のサイズの多様化と収蔵空間の節約"
- ・*Nipponitella* の生息姿勢及び堆積環境推定

1) 論文

(査読なし)

- ①一田昌宏, 2024. 岐阜県高山市呂瀬層から産出したデボン紀床板サンゴ類, “*Favosites*” 及び *Heliolites*. 豊橋市自然史博物館研究報告, (34): 1-4.

2) 普及書等

なし

3) 学会発表等

- ①Masahiro Ichida, Akio Yoneyama, Tomoki Karasawa, 2023. Three-dimensional observation of fusulinoideans shell structure, especially the layered structure of spirotheca, by synchrotron X-ray micro-CT. 2nd Asian

Palaeontological Congress, 3rd-7th, Aug., Tokyo, Japan, P8-2.

4) 学会、研究会等への参加

(※公務による出張、参加のみ掲載)

①2nd Asian Palaeontological Congress

期日：令和5年8月3日(木)～8月7日(月)

場所：東京大学本郷キャンパス

5) 調査研究に係る出張

(※公務による県外出張のみを掲載)

①大垣市紡錘虫類標調査

期日：令和5年10月17日(火)～10月19日

(金)

場所：岐阜県大垣市

②熊本県上益城郡山都町紡錘虫類調査

期日：令和5年11月12日(日)～11月17日

(金)

場所：熊本県上益城郡山都町

③南大東島及び北大東島における地質調査及び岩石・化石試料の収集(国立科学博物館共同調査)

期日：令和6年3月2日(土)～令和6年3月8日(金)

場所：南大東島及び北大東島

稗田真也(学芸員：植物)

調査研究の主なテーマ

- ・東三河地方の在来植物相と地域植物誌
- ・アカバナ科植物の多様性
- ・日本の外来植物相
- ・侵略的外来種の生活史・管理についての研究

令和5年度の調査研究テーマ

- ・地域の植物相・植物誌調査
- ・ミズキンバイ節植物の多様性
- ・ヒガタアシなど早期防除調査

1) 論文

なし

2) 普及書等

なし

3) 学会発表等

なし

4) 学会、研究会等への参加

(※公務による出張、参加のみ掲載)

①日本植物分類学会第23回大会千葉大会

期日：令和6年3月11日(月)～12日(火)

場所：東北大学片平キャンパス

5) 調査研究に係る出張

(※公務による県外出張のみを掲載)

①令和7年度特別企画展準備

期日：令和5年5月25日(木)～26日(金)

場所：大阪市・三田市

②令和7年度特別企画展準備

期日：令和5年6月8日(木)～9日(金)

場所：松江市・出雲市

③植物生態模型製作業務

期日：令和5年6月21日(木)

場所：京都市

④侵略的外来水生植物管理実態調査(外部研究費)

期日：令和5年7月24日(月)～27日(木)

場所：岐阜県・滋賀県・三重県

⑤令和7年度特別企画展準備

期日：令和5年10月26日(木)～27日(金)

場所：下関市・宇部市

⑥令和7年度特別企画展準備

期日：令和5年11月21日(火)

場所：関市

⑦令和7年度特別企画展準備

期日：令和6年1月16日(火)

場所：小田原市

⑧令和7年度特別企画展準備

期日：令和6年2月16日(金)

場所：静岡市

⑨令和7年度特別企画展準備

期日：令和6年2月27日(火)～29日(木)

場所：滋賀県・京都府

⑩令和7年度特別企画展準備

期日：令和6年3月2日(土)

場所：静岡市

⑪令和7年度特別企画展準備

期日：令和6年3月15日(金)～16日(土)

場所：京都市・神戸市

⑫令和7年度特別企画展準備

期日：令和6年3月27日(水)

場所：桑名市ほか

⑬令和7年度特別企画展準備

期日：令和6年3月29日(金)

場所：津市

丹羽美春(学芸員：岩石・鉱物)

調査研究の主なテーマ

・中央構造線沿いに分布する断層岩の変形履歴等の解明

・東三河の地質と産出する岩石・鉱物について

令和5年度調査研究テーマ

・東三河の中央構造線の構造岩石学的研究

1) 論文

(査読なし)

①丹羽美春, 2024. 豊橋市自然史博物館に寄贈された新鉱物浅葱石の cotype 標本. 豊橋市自然史博物館研究報告, (34): 15–18.

2) 普及書等

なし

3) 学会発表等

①丹羽美春・道林克禎. 愛知県新城地域の中央構造線沿いに分布する断層岩の構造岩石学的特徴. 日本地質学会第130年学術大会 ポスター発表. 2023年9月18日(月), 京都大学.

4) 学会、研究会等への参加

(※公務による出張、参加のみ掲載)

①日本地球惑星科学連合2023年大会

期日：令和5年5月21日(日)～5月26日(金)

場所：オンライン参加

②日本鉱物科学会2023年年会・総会

期日：令和5年9月14日(木)～9月16日(土)

場所：オンライン参加

③日本地質学会第130年学術大会

期日：令和5年9月17日(日)～9月18日(月)

場所：京都大学

5) 調査研究に係る出張

(※公務による県外出張のみを掲載)

- ①令和6年度特別企画展準備調査
期日：令和5年6月15日(木)
場所：静岡県富士宮市(奇石博物館)
- ②令和6年度特別企画展借用資料撮影
期日：令和6年1月12日(金)
場所：静岡県富士宮市(奇石博物館)
- ③令和6年度特別企画展借用資料撮影
期日：令和6年1月19日(金)
場所：岐阜県瑞浪市(瑞浪鉱物展示館)
- ④東三河の中央構造線調査
期日：令和6年2月14日(水)
場所：愛知県・新城市、名古屋大学

菊地波輝 (学芸員：昆虫)

調査研究の主なテーマ

- ・ヒメバチ科の分類・系統学的研究
- ・寄生蜂と寄主の多様性解明
- ・東海地方の昆虫相の解明

令和5年度の調査研究テーマ

- ・日本及び台湾産ヒメバチ亜科の分類学的研究
- ・豊橋市のウスバカゲロウ科の分布
- ・表浜の海浜性ハチ類の分布
- ・東海地方のクチナガハバチ属の分布と採集方法の確立

1) 論文

(査読有)

- ① Francesco Ballarin, Alyssa Lola, Ardika Irawan, Bounsang Chouangthavy, 菊地波輝, 2023. ABSの迷路から抜け出す方法：アクセスと利益配分の遵守を成功させた3つのケース Find your way out of the ABS maze: three cases of successful Access and Benefit Sharing compliance. 昆虫(ニューシリーズ), 26(2): 149-156.
- ② 菊地波輝, 2023. タカネセダカヤセバチ *Pristaulacus japonicus* Turissi & Watanabe, 2011 (膜翅目, セダカヤセバチ科) の北海道からの初記録昆虫(ニューシリーズ), 26(4): 205-206.

(査読なし)

- ① 菊地波輝, 2024. 豊橋市で採集された愛知県初記録種を含むウスバカゲロウ科(昆虫綱: 脈翅目). 豊橋市自然史博物館研究報告, (34): 11-14.

2) 普及書等

なし

3) 学会発表等

- ① 山口万里花・菊地波輝・吉田貴大・奥山雄大・村上哲明. ネコノメソウ属イワボタン列の訪花昆虫調査による主要なポリネーターの解明. 日本植物学会第87回大会, P-014B. 2023年9月, 北海道大学・zoom.
- ② 菊地波輝. DNAバーコーディングから見えてきた日本産ヒメバチの種多様性. 日本昆虫学会第83回大会, WB202. 2023年9月, 佐賀大学.
- ③ 菊地波輝・久末 遊. 絶滅危惧種・クロシジミの寄生蜂, クロシジミセアカヒメバチの70年ぶりの再発見. 日本昆虫学会第83回大会, B312. 2023年9月, 佐賀大学.
- ④ Marika Yamaguchi, Namiki Kikuchi, Takahiro Yoshida, Yudai Okuyama, Noriaki Murakami. Discovery of unique pollinators of the Japanese endemic Golden-Saxifrage, *Chrysosplenium* ser. *Macrostemon*. 10th East Asian Plant Diversity and Conservation Symposium 2023, P02. 2023年10月, 大阪・zoom.
- ⑤ Marika Yamaguchi, Namiki Kikuchi, Takahiro Yoshida, Yudai Okuyama, Noriaki Murakami. A unique symbiotic relationship between Japanese endemic *Macrostemon* and its pollinators. Bio Conference 2023, No.57. 2023年11月, 都立大.
- ⑥ 山口万里花・菊地波輝・吉田貴大・奥山雄大・村上哲明. ネコノメソウ属イワボタン列と送粉者クチナガハバチ属の共生系の発見と集団間比較. 第55回種生物学シンポジウム, P31. 2023年11~12月, 愛知県青年の家・zoom.

⑦ Marika Yamaguchi, Namiki Kikuchi, Takahiro Yoshida, Yudai Okuyama, Noriaki Murakami. Discovery of a novel mutualism between *Macrostemon* and *Nipponorhynchus*. 第71回日本生態学会大会. 2024年3月, 横浜国立大学.

⑧ 山口万里花・菊地波輝・吉田貴大・奥山雄大・村上哲明. ネコノメソウ属イワボタン列の花の多様性はどのように生まれたか?. 日本植物分類学会第23回大会. 2024年3月, 東北大学.

4) 学会、研究会等への参加

(※公務による出張、参加のみ掲載)

① 日本昆虫学会第83回大会

期日：令和5年9月16日(土)～9月18日(月)

場所：佐賀大学

5) 調査研究に係る出張

(※公務による県外出張のみを掲載)

なし

長谷川道明(学芸員：昆虫)

調査研究の主なテーマ

- ・日本産カミキリムシの種分化と系統
- ・東海地方の昆虫相
- ・昆虫類の普及・教育活動・日本産カミキリムシの種分化と系統

令和5年度の調査研究テーマ

- ・ツシマゴマフチビカミキリの属所属について
- ・紀伊半島で得られた *Mesosella* 属の不明種
- ・ *Asaperda* 属の分類学的再検討
- ・愛知県のゲンゴロウ科甲虫について

1) 論文

(査読なし)

① 船越進太郎・鈴木啓久・川瀬英夫・長谷川道明, 2023. 2022年乗鞍岳の鱗翅目甲虫と個体数調査. YADORIGA やどりが, (276): 49–62.

② 細川浩司・長谷川道明, 2024. 岐阜県で採集されたフトアゴエグリゴミムシ. さやばねニュースシリーズ, (539): 27.

2) 普及書等

なし

3) 学会発表等

① 島田知彦・富永 篤・長谷川道明・白井雅之・榎本諒太・萩原孝泰・高見一利・大谷忠興. アカハライモリ「渥美種族」の分布範囲について. 日本爬虫両棲類学会甲虫学会第62回船橋大会. 2023年12月9～10日, 東邦大学習志野キャンパス.

② 長谷川道明. *Asaperda* 属(カミキリムシ科フトカミキリ亜科)の分類学再検討(予報). カミキリムシ勉強会. 2023年8月5日, 東京都台東区.

③ 長谷川道明. 太平仁夫先生を偲んで—大平先生がいたころの東京農大昆虫学研究室. 日本甲虫学会名古屋例会. 2023年9月10日, 四日市市.

④ 長谷川道明. 近畿～東海地方のビャクシンカミキリの分布と変異. 岐阜県昆虫分布研究会. 2024年3月10日, 岐阜市.

⑤ 長谷川道明. カミキリムシのはなし. 美濃加茂自然史研究会. 2024年3月16日, 美濃加茂市.

4) 学会、研究会等への参加

(※公務による出張、参加のみ掲載)

なし

5) 調査研究に係る出張

(※公務による県外出張のみを掲載)

なし

(2) 外部研究資金助成等の獲得

① 第34期(2023年度)プロ・ナトゥーラ・ファンド助成

研究分担者：菊地波輝

研究課題名：イワボタン列の遺伝的多様性保全に向けた、イワボタン列ークチナガハバチ属共生系の実態調査

助成額：1,000,000円

5. 資料の収集・保管活動

(1) 採集資料

採集年月日	場所	採集資料名	採集者	数量
《貝類》				
2023.09.02	岐阜県高山市上宝町	ヤマナメクジ	西 浩孝	9
2023.09.21	愛知県豊橋市高塚町	淡水産貝類	西 浩孝	7
2023.11.19	愛知県豊橋市岩田町	淡水産貝類	西 浩孝	2
《昆虫》				
2023.12.27	愛知県豊橋市本坂峠	ハネナシナガクチキ	長谷川道明・菊地波輝	3
2023.7.15	愛知県豊橋市大岩町	カマキリモドキの一種	菊地波輝	4
2023.07~09	愛知県豊橋市内	ウスバカゲロウ類 (6種)	菊地波輝	19
《無脊椎動物》				
2023.06.29	長崎県五島市	扁形動物・環形動物	西 浩孝	2
2023.09.21	愛知県豊橋市高塚町	ヒルの一種	西 浩孝	1
2023.11.08	兵庫県南あわじ市	扁形動物	西 浩孝	4
2023.11.19	愛知県豊橋市岩田町	カイメン	西 浩孝	1
2023.12.01	愛知県豊橋市中浜町	ヒル	西 浩孝	1
2023.12.01	愛知県豊橋市中浜町	ミズムシ	西 浩孝	1
2023.12.01	愛知県豊橋市中浜町	カイメン・コケムシ	西 浩孝	2
《鳥類》				
2023.12.07	愛知県豊橋市大岩町	ダイサギ	安井謙介	1
2024.03.15	愛知県豊橋市大岩町	シロハラ	安井謙介	1
《哺乳類》				
2023.05.09	愛知県豊橋市高塚町	スナメリ	安井謙介	1
2023.06.06	愛知県豊橋市東七根町	オガワコマッコウ	安井謙介	1
2024.01.21	愛知県豊橋市小松原町	スジイルカ	安井謙介	1

(2) 寄贈資料

資料名	受入先	受入日	数量
《岩石・鉱物》			
北海道石	石橋 隆	2023.08.13	1
方解石・霰石	芳賀拓真	2023.09.08	2
マサ (花崗岩)	西 浩孝・一田昌宏	2023.09.08	1
鉱石・鉱山資料	新川 教	2023.12.08	35
砂 (サハラ砂漠)	柿野佳子	2023.12.24	1

リン鉱石	一田昌宏	2024.03.10	1
《植物》			
植物標本	瀧崎吉伸	2024.03.28	675
《貝類》			
海産貝類	西 浩孝	2023.04.01	15
淡水産貝類	西 浩孝	2023.04.11	1
陸産貝類	菊地波輝	2023.05.09	1
陸産貝類	西 浩孝	2023.05.16	9
海産貝類	西 浩孝	2023.05.24	9
陸産貝類	西 浩孝	2023.05.24	1
陸産貝類	西 浩孝	2023.06.06	6
海産貝類	西 浩孝	2023.06.08	17
ヒメオカモノアラガイ	西 浩孝	2023.06.25	6
海産貝類	西 浩孝	2023.07.06	22
海産貝類	西 邦雄	2023.07.20	20
海産貝類	西 邦雄	2023.07.26	10
エドガワミズゴマツボ	松岡敬二	2023.07.28	7
海産貝類	西 浩孝	2023.08.03	29
海産貝類	西 浩孝	2023.08.12	24
陸産貝類	西 浩孝	2023.08.17	6
ネズミに因む貝	西 浩孝	2023.08.18	6
陸産貝類	西 浩孝	2023.09.10	13
陸産貝類	西 浩孝	2023.09.13	4
海産貝類	西 浩孝	2023.09.17	2
ヤマナメクジ	四方圭一郎	2023.10.03	1
ルリガイ	西 浩孝	2023.10.07	2
海産貝類	西 邦雄	2023.11.18	5
陸産貝類	西 浩孝	2023.11.19	2
海産貝類（伊良湖岬産）	西 浩孝	2023.11.19	2
海産貝類	西 浩孝	2023.12.12	13
琵琶湖産二枚貝	松岡敬二	2023.12.13	139
海産貝類	西 浩孝	2023.12.26	17
表浜漂着物標本	牧野伸一	2024.02.16	237
陸産貝類	西 浩孝	2024.02.11	1
海産貝類	西 浩孝	2024.03.05	23
ウミウシ	西 邦雄	2024.03.12	21
ウミウシ	西 邦雄	2024.03.12	9
ウミウシ	西 邦雄	2024.03.12	1

淡水産貝類	西 浩孝	2024.03.12	21
《甲殻類》			
カニ類	西 邦雄	2023.07.20	3
甲殻類	牧野伸一	2024.02.16	21
《無脊椎動物》			
扁形動物	西 浩孝	2023.05.01	2
シナノビル	西 浩孝	2023.08.01	1
扁形動物	西 浩孝	2023.08.17	1
サンゴ・腕足動物ほか	大村恵一	2023.08.22	22
ヤマビル	西 浩孝	2023.09.10	1
表浜漂着物標本	牧野伸一	2024.02.16	13
《魚類》			
ハゼ類	山田穂高	2023.12.19	8
庄内川産魚類	間野静雄	2024.03.02	282
《鳥類》			
シロエリオオハム	藤岡エリ子	2023.04.08	1
シロハラ	細井優子	2023.04.09	10
カワラヒワ	永田大雅	2023.05.18	1
シチメンチョウ	石田さよ子	2023.05.24	
ゴイサギ	藤岡エリ子	2023.09.29	1
キビタキ	梅村智文	2023.10.04	1
クイナ	藤岡エリ子	2023.10.26	1
チュウダイサギ	金田聡子	2023.11.07	1
ルリビタキ	細井優子	2023.11.29	2
ハイタカ・ムクドリ	山本博勝	2023.11.30	1
ツグミ	彦坂千里	2024.01.25	1
オオタカ	愛知県境政策部自然環境課	2024.03.25	1
《哺乳類》			
ヒグマ（頭部）	美沢佑紀	2023.05.18	1
アナグマ	山口恵子	2023.08.21	1
ヒグマ（頭部）	美沢佑紀	2023.09.22	2
アナグマ	藤岡エリ子	2023.10.07	1
ヒグマ（頭部）	美沢佑紀	2023.10.14	2
イタチ類	西 浩孝	2023.11.24	1
キョン	美沢佑紀	2023.12.07	1
ニホンジカ（頭部）	平野二義	2023.12.18	1
ヒゲクジラ類頭骨	奥田 基	2023.12.24	1

ニホンジカ（頭部）	平野二義	2024.01.08	1
イノシシ（頭骨）	夏目和也	2024.01.13	2
ニホンジカ（頭部）	平野二義	2024.01.31	2
ニホンジカ（頭部）	平野二義	2024.02.04	1
ツキノワグマ（頭部）	美沢佑紀	2024.02.23	5
キョン	美沢佑紀	2024.02.29	1
キョン	美沢佑紀	2024.03.13	1
アマミノクロウサギ・ケナガネズミ	環境省奄美野生生物保護センター	2024.03.31	6

(3) 収蔵資料状況（令和6年3月31日現在）

区分	記号	令和5年度 受入点数	令和5年度 登録点数	登録資料	未登録資料	登録・未登録 資料合計
古生物部門	TMNH	0	1,789	14,019	53,855	67,874
岩石・鉱物部門	TMNH-R	41	20	5,128	3,964	9,092
植物部門	TMNH-B	675	675	17,182	17,935	35,117
動物部門		1,160	1,520	81,577	395,461	477,038
その他（民芸品等）		0		0	6	6
	計	1,876	4,004	117,906	471,221	589,127
（動物部門内訳）						
貝 類	TMNH-MO	720	365	46,073	143,027	189,100
甲殻類	TMNH-C	24	2	108	1,924	2,032
昆虫類	TMNH-I	26	1,111	31,273	247,267	278,540
その他の無脊椎動物	TMNH-IV	52	2	90	781	871
魚 類	TMNH-F	290	11	2,446	1,781	4,227
両生類	TMNH-AM	0	0	78	50	128
爬虫類	TMNH-RE	0	0	162	56	218
鳥 類	TMNH-AV	15	12	698	331	1,029
哺乳類	TMNH-MA	33	17	649	244	893

(4) 剥製等の製作委託

令和5年度はオサガメの背甲1点の剥製を製作委託した。

件を受入れた。

①件 名：剥製を用いた機械学習の反応確認
利用者：伊藤信一

内 容：ハシブトガラス・ハシボソガラス
本剥製

(5) 外部研究者の資料利用

収蔵資料について、主に調査研究を目的とした研究者の利用について、令和5年度は4

②件 名：比較形態学的研究のための計測調査

利用者：東京大学大学院農学生命科学研究
科 武田清一郎

内 容：トムソンガゼル等骨格標本 7 点

③件 名：カラス骨格標本の調査

利用者：柴田 全

内 容：ハシブトガラス・ハシボソガラス
骨格標本

④件 名：比較形態学的研究のための計測調
査

利用者：飯田市美術博物館 長谷川善和・
川谷文子

内 容：ライオン・トラ・カリフォルニア
アシカ骨格標本 3 点

(6) 資料及び標本の貸出・借用

1) 貸出

①貸 出 先：国立科学博物館

目 的：特別展「海—生命のみなもと
—」にて展示のため

貸出期間：令和 5 年 6 月 25 日～令和 5
年 10 月 31 日

貸出資料：化石資料 2 点

②貸 出 先：鹿児島大学総合研究博物館 本
村浩之

目 的：遠州灘におけるコマハゼ属の
分布実態を把握するため

貸出期間：令和 5 年 8 月 14 日～令和 5
年 8 月 14 日

貸出資料：魚類標本 1 点

③貸 出 先：蒲郡市生命の海科学館

目 的：企画展「ころんとまるまる ダ
ンゴムシとなかまたち」にて
展示のため

貸出期間：令和 5 年 9 月 8 日～令和 6 年
2 月 10 日

貸出資料：液浸標本・模型 2 点

④貸 出 先：岩手県立博物館

目 的：特別企画展「ポケモン化石博
物館」での展示のため

貸出期間：令和 5 年 12 月 10 日～令和 6

年 3 月 9 日

貸出資料：アンモナイト化石等 14 点

⑤貸 出 先：群馬県立自然史博物館 長谷川
善和

目 的：日本産大型食肉類化石の分類
学的検討のための 3D 撮影

貸出期間：令和 5 年 12 月 15 日～令和 5
年 12 月 26 日

貸出資料：ライオン上腕骨 2 点

⑥貸 出 先：御船町恐竜博物館

目 的：特別企画展「ポケモン化石博
物館」にて展示のため

貸出期間：令和 6 年 3 月 9 日～令和 6 年
6 月 29 日

貸出資料：アンモナイト化石等 14 点

⑦貸 出 先：浜松市博物館

目 的：干支展「辰」にて展示のため
貸出期間：令和 6 年 1 月 23 日～令和 6
年 3 月 15 日

貸出資料：自然史資料等 143 点

⑧貸 出 先：NHK プロモーション

目 的：特別展「海—生命のみなもと
—」にて展示のため

貸出期間：令和 6 年 2 月 27 日～令和 6
年 6 月 30 日

貸出資料：化石資料 2 点

2) 借用

①借 用 先：神奈川県立生命の星・地球博物
館

目 的：展示標本および学習標本とし
て利用するため

借用期間：令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年
3 月 31 日

借用資料：岩石標本 9 点

②借 用 先：国立科学博物館

目 的：特別企画展「カイジウ博
2023」での展示のため

借用期間：令和 5 年 6 月 21 日～令和 5
年 9 月 15 日

- 借用資料：セミクジラ頭骨等 39 点、画像 96 点
- ③借用先：東京海洋大学鯨類学研究室
目的：特別企画展「カイジュウ博 2023」での展示のため
借用期間：令和 5 年 6 月 27 日～令和 5 年 9 月 15 日
借用資料：ナガスクジラ耳垢栓等 3 点
- ④借用先：東京海洋大学マリンサイエンスミュージアム
目的：特別企画展「カイジュウ博 2023」での展示のため
借用期間：令和 5 年 6 月 27 日～令和 5 年 9 月 15 日
借用資料：シャチ頭骨 1 点
- ⑤借用先：(一財) 日本鯨類研究所
目的：特別企画展「カイジュウ博 2023」での展示のため
借用期間：令和 5 年 6 月 27 日～令和 5 年 9 月 15 日
借用資料：セミクジラ頸椎等 26 点、画像 4 点
- ⑥借用先：瑞浪市化石博物館
目的：特別企画展「カイジュウ博 2023」での展示のため
借用期間：令和 5 年 5 月 16 日～令和 5 年 9 月 29 日
借用資料：ミズナミムカシアシカ頭蓋レプリカ 1 点、画像 1 点
- ⑦借用先：(公財) 山階鳥類研究所
目的：特別企画展「カイジュウ博 2023」での展示のため
借用期間：令和 5 年 5 月 16 日～令和 5 年 9 月 29 日
借用資料：海鳥類胃内容物 1 式、海鳥類生態等画像 7 点
- ⑧借用先：願照寺
目的：特別企画展「カイジュウ博 2023」での展示のため
借用期間：令和 5 年 5 月 16 日～令和 5 年 9 月 29 日
- 借用資料：ヒゲクジラ類下顎骨等 3 点
- ⑨借用先：林 重雄
目的：特別企画展「カイジュウ博 2023」での展示のため
借用期間：令和 5 年 7 月 1 日～令和 5 年 9 月 15 日
借用資料：漂着物標本 35 点、画像 19 点
- ⑩借用先：松野弘美
目的：特別企画展「カイジュウ博 2023」での展示のため
借用期間：令和 5 年 7 月 1 日～令和 5 年 9 月 15 日
借用資料：漂着物標本一式、画像 2 点
- ⑪借用先：田原市教育委員会
目的：特別企画展「カイジュウ博 2023」での展示のため
借用期間：令和 5 年 5 月 16 日～令和 5 年 9 月 29 日
借用資料：ニホンアシカ頭骨等 17 点
- ⑫借用先：名古屋港水族館
目的：特別企画展「カイジュウ博 2023」での展示のため
借用期間：令和 5 年 5 月 16 日～令和 5 年 9 月 29 日
借用資料：ミンククジラ前肢骨格等 17 点、動画 1 点、画像 12 点
- ⑬借用先：三重大学大学院生物資源学研究所
目的：特別企画展「カイジュウ博 2023」での展示のため
借用期間：令和 5 年 5 月 16 日～令和 5 年 9 月 29 日
借用資料：スナメリ胃内容物等 12 点、動画 1 点、画像 5 点
- ⑭借用先：千葉県立中央博物館
目的：特別企画展「カイジュウ博 2023」での展示のため
借用期間：令和 5 年 5 月 1 日～令和 5 年 9 月 3 日

- 借用資料：イッカク全身骨格画像 2 点
 ⑮借用先：太地町立くじらの博物館
 目 的：特別企画展「カイジュウ博
 2023」での展示のため
 借用期間：令和 5 年 5 月 25 日～令和 5
 年 9 月 3 日
 借用資料：腹鰭のあるハンドウイルカ等
 画像 14 点
 ⑯借用先：蒲郡市博物館長
 目 的：特別企画展「カイジュウ博

- 2023」での展示のため
 借用期間：令和 5 年 5 月 25 日～令和 5
 年 9 月 3 日
 借用資料：画像 3 点
 ⑰借用先：浜松市博物館
 目 的：干支展「竜」での展示のため
 借用期間：令和 5 年 12 月 7 日～令和 6
 年 1 月 23 日
 借用資料：歴史・民俗学的資料等 51 点

(7) 図書

1) 購入図書

(単行本)

(15 冊)

書名	著者・編集・監修者	出版社
博物館とコレクション管理 (増補改訂版)	金山喜昭 (著)	雄山閣
日本産樹木実生図譜	梅林正芳 (著)	ウッズプレス
どこかにきつという植物図鑑の絵を描きたいと 思っている人に！	梅林正芳 (著)	ウッズプレス
日本産水生昆虫 第二版：科・属・種への検索	川合禎次・谷田一三 (共著)	東海大学出版会
日本産土壌動物 第二版：分類のための図解検索	青木淳一 (編著)	東海大学出版会
海産無脊椎動物多様性学	京都大学フィールド科学 教育研究センター瀬戸臨 海実験所創立 100 周年記 念出版編集委員会 (編)	京都大学学術出版 会
日本産稚魚図鑑 第二版	沖山宗雄 (編)	東海大学出版会
足の事典	山崎信寿 (編)	朝倉書店
世界で一番美しいワニの図鑑	福田雄介 (著)	エクスナレッジ
ワニ大図鑑	中井穂瑞穂 (著)	誠文堂新光社
コウモリ学	船越公威 (著)	東京大学出版会
深堀り誕生石	奥山康子 (著)	築地書館
現代地球科学入門シリーズ 11 結晶学・鉱物学	藤野清志 (著)	共立出版
現代地球科学入門シリーズ 16 岩石学	榎並正樹 (著)	共立出版
地球のテクトニクス I 堆積学・変動地形学	箕浦幸治・池田安隆 (著)	共立出版

(雑誌類)

(42冊)

雑誌名	巻号数	出版社
日経サイエンス	第53巻5～12号、第54巻1～4号	日経サイエンス社
科学	第93巻4～12号、第94巻1～3号	岩波書店
遺伝	第77巻3～6号、第78巻1～2号	エヌ・ティー・エス
昆虫と自然	第58巻4～12号、第59巻1～3号	ニューサイエンス社

2) 交換・寄贈図書等

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

国内：250機関から626冊

国外：11カ国19機関から73冊

個人：1人から1点

3) 図書資料収蔵点数

47,770点（令和6年3月31日現在）

6. 施設整備

(1) 修繕

修繕名	請負業者	契約金額
自然史博物館中生代展示室パソコン機器等修繕	株式会社丹青社	¥ 1,604,900
キーシリンダー取替修繕	株式会社藤環 三河営業所	¥ 1,265,000
古生代展示室照明LED化修繕	有限会社栄和電工	¥ 1,045,000
野外恐竜模型（トリケラトプス・アンキロサウルス）修繕	株式会社藤環 三河営業所	¥ 849,200
自然史博物館電話機修繕	日昇テレコム株式会社	¥ 580,800
自然史博物館防災設備（防火戸）修繕	株式会社藤環 三河営業所	¥ 306,900

(2) 備品

品名	納入業者	契約金額
3D実体顕微鏡、4Kデジタルカメラ	株式会社イクモ	¥ 979,000
偏光顕微鏡	株式会社イクモ	¥ 1,055,967
岩石カッター	有限会社山本器械店	¥ 1,694,000

(3) 工事

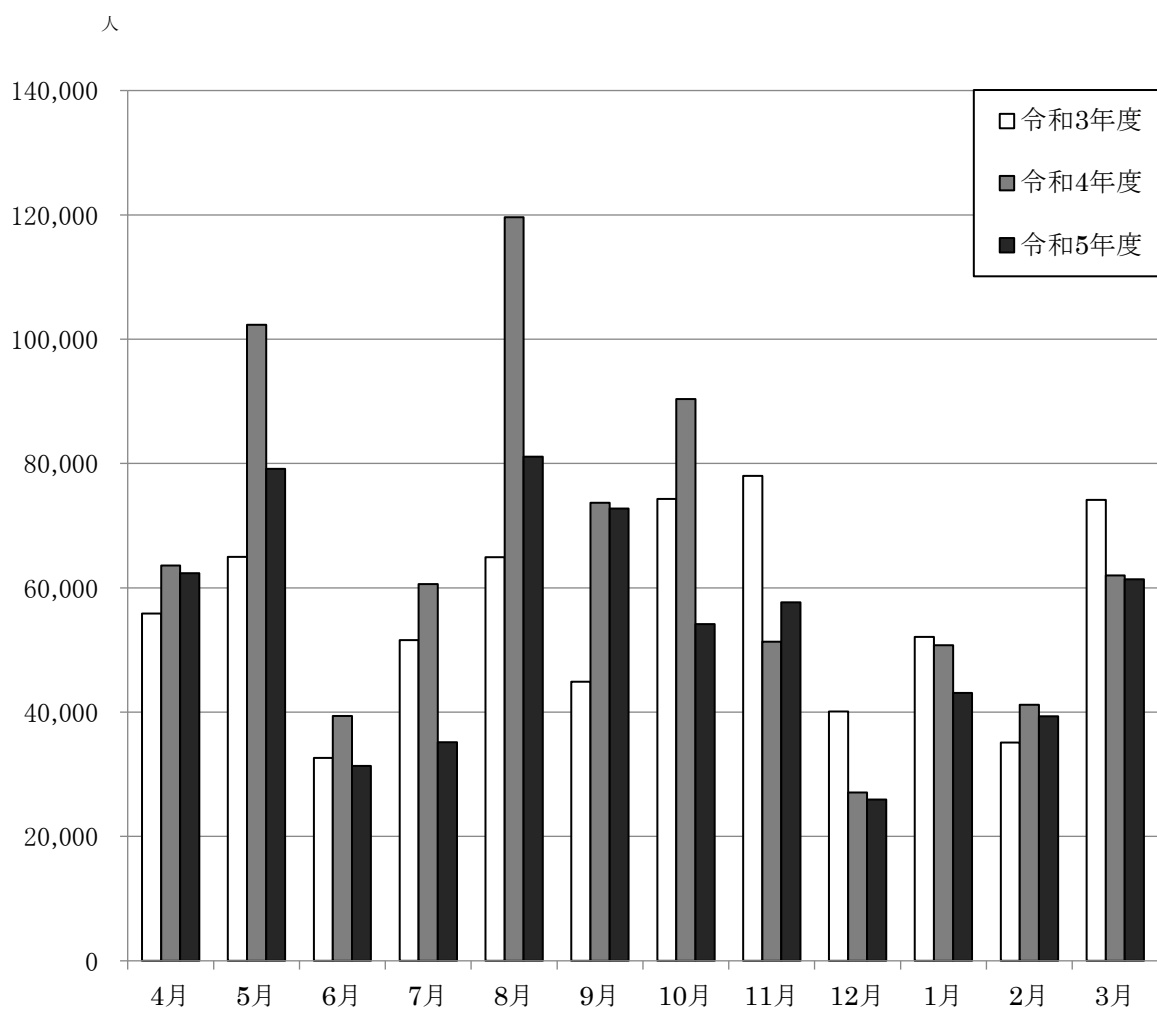
工事名	請負業者	契約金額
自然史博物館特別企画展示室ロビー屋上防水改修工事	有限会社アルビック	¥ 4,793,800

Ⅱ. 利用状況

1. 入館者

(1) 自然史博物館利用統計

区分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	入館者	前年比	動植物公園	入館者	前年比	動植物公園	入館者	前年比	動植物公園
月	人	%	人	人	%	人	人	%	人
4	55,872	683.4	104,383	63,565	13.8	99,185	62,364	△1.9	88,164
5	64,978	636.2	107,922	102,340	57.5	178,478	79,158	△22.7	118,810
6	32,627	△21.8	50,707	39,402	20.8	55,159	31,358	△20.4	47,189
7	51,601	42.8	62,131	60,595	17.4	68,002	35,181	△41.9	44,714
8	64,950	△12.0	76,858	119,622	84.2	143,168	81,118	△32.2	100,643
9	44,907	△40.9	59,530	73,683	64.1	103,503	72,750	△1.3	103,283
10	74,298	6.6	111,533	90,354	21.6	143,035	54,159	△40.1	97,952
11	78,017	18.5	108,666	51,318	△34.2	92,558	57,692	12.4	100,416
12	40,120	26.7	58,378	27,098	△32.5	41,436	25,925	△4.3	45,649
1	52,114	69.0	67,327	50,787	△2.5	62,874	43,082	△15.2	61,363
2	35,110	△36.6	48,486	41,183	17.3	53,847	39,327	△4.5	60,437
3	74,161	21.0	104,226	61,994	△16.4	81,529	61,354	△1.0	98,169
年計	668,755	19.8	960,167	781,941	16.9	1,122,774	643,468	△17.7	966,789
累計	16,856,927	—	—	17,638,868	—	—	18,282,336	—	—



(2) 入館者種別

(項目別入館者数)

区分	曜日等の区別			合計
	日曜・祝日等	土曜日	その他	
開館日数	66 日	49 日	198 日	313 日
入館者総数	297,562 人	182,146 人	163,760 人	643,468 人
1 日平均	4,509 人	3,717 人	827 人	2,056 人
1 か月平均	24,797 人	15,179 人	13,647 人	53,622 人
1 日最高入館者	5 月 3 日 12,736 人	9 月 9 日 8,009 人	11 月 24 日 8,422 人	—

(3) ホームページ閲覧者数

月	トップページ	英語版
令和5年4月	6,865	112
5月	7,070	149
6月	8,797	179
7月	10,766	170
8月	11,840	165
9月	7,876	157
10月	7,533	198
11月	8,338	245
12月	8,011	160
令和6年1月	9,983	163
2月	20,880	180
3月	21,838	217
計	129,797	2,095

※豊橋市自然史博物館ホームページ：<https://www.toyohaku.gr.jp/sizensi/>

※ホームページ開設：2000年10月7日

※アクセス解析によるページビュー数

(4) 石巻自然科学資料館入館者状況

区分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	開館日数	利用者	前年比	開館日数	利用者	前年比	開館日数	利用者	前年比
月	日	人	%	日	人	%	日	人	%
4	26	818	116.3	26	630	△23.0	26	556	△11.7
5	26	885	478.4	26	705	△20.3	26	390	△44.7
6	26	620	2.1	26	450	△27.4	26	228	△49.3
7	27	445	7.7	27	315	△29.2	26	350	11.1
8	26	267	△61.1	26	416	55.9	27	262	△37.1
9	26	400	△34.2	26	253	△36.8	26	318	25.7
10	27	745	5.5	26	555	△25.5	26	416	△25.0
11	25	676	△30.3	26	612	△9.5	26	514	△16.0
12	27	564	△43.5	27	306	△45.7	27	400	30.7
1	26	716	23.4	26	494	△31.0	24	332	△32.8
2	24	453	△36.1	24	381	△15.9	25	322	△15.5
3	27	743	24.2	27	440	△40.8	27	302	△31.4
計	313	7,332	△1.0	313	5,557	△24.2	312	4,390	△21.0

※平成12年度から、機構改革に伴い資料館の管理が、商業観光課から自然史博物館に移管された。

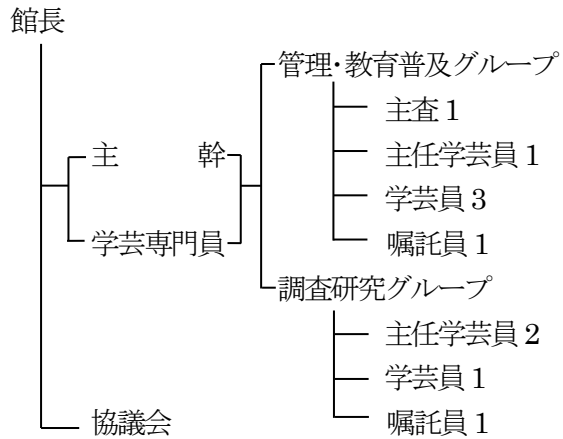
※平成13年4月1日から、自然史博物館の附属施設となった。(豊橋市自然史博物館条例の一部改正)

Ⅲ. 組織及び運営

1. 組織

(1) 運営組織

(令和6年3月31日)



ミュージアムアドバイザー

(2) 自然史博物館職員

(令和6年3月31日)

役職名	氏名
館長	坂本博一
主幹	浅野佳奈子
学芸専門員	加藤千茶子
主査	中川理恵
主任学芸員	安井謙介
主任学芸員	西 浩孝
主任学芸員	一田昌宏
学芸員	丹羽美春
学芸員	稗田真也
学芸員	菊地波輝
学芸員	長谷川道明
嘱託員	保木井伸佳
嘱託員	佐原立樹

ミュージアムアドバイザー	松岡敬二
--------------	------

2. 博物館の使用料等

①入館料：自然史博物館入館料は、豊橋総合動植物公園の入園料の一部として、総合動植物公園入園料に一本化されている。(平成4年4月29日以降)

区分	豊橋総合動植物公園入園料	
	個人	団体
大人	600 円	480 円
小・中学生	100 円	80 円

※学齢に達しない者は、無料とする。

②使用料(観覧等)：自然史博物館条例第4条
特別企画展観覧料(以下の金額の範囲内)

区分	特別企画展観覧料 (1人1回につき)	
	個人観覧料	団体観覧料
大人	1,000 円	800 円
小・中学生	400 円	300 円

※学齢に達しない者は、無料とする。

※団体とは、30人以上とする。

大型映像観覧料(以下の金額の範囲内)

区分	大型映像観覧料 (1人1回につき)	
	個人観覧料	団体観覧料
大人	1,000 円	800 円
小人(中学生以下)	400 円	300 円

※個人利用において学齢に達しない者は、保護者1人につき1人に限り無料とする。

※団体とは、30人以上とする。

③手数料：自然史博物館条例第5条
博物館の資料を撮影等するとき。

区分	単位	手数料
複写	1枚につき	20 円
模写	1点につき	1,030 円
模造	1点につき	1,030 円
拓本	1点につき	1,030 円
撮影	撮影した写真を出版物等への掲載を目的とする場合	1点につき 1,030 円
	その他の場合	300 円

④講堂、特別企画展示室使用料：
自然史博物館条例第6条

区分	単位	使用料
講堂	午前9時から 正午まで	3,510 円
	午後1時から 午後4時30分まで	4,150 円
	午前9時から 午後4時30分まで	7,660 円
特別企画 展示室	午前9時から 正午まで	9,600 円
	午後1時から 午後4時30分まで	10,670 円
	午前9時から 午後4時30分まで	20,270 円

※入場料又は会費の類を徴収する場合の使用料は、当該使用料の倍額とする。

3. 決算

(1) 令和5年度歳入歳出決算見込

(歳入)

項名	説明	決算見込額
使用料	観覧料等	円 13,143,970
手数料	資料複写等手数料	2,260
財産収入	その他賃貸料	2,292,174
諸収入	図録頒布収入	553,100
	講座等収入	663,150
	調査研究活動事業収入	160,000
	光熱水費収入	169,416
	特別企画展開催事業費収入	6,810,000
	小計	8,355,666
合計		23,794,070

(歳出)

費目	決算見込額	費目	決算見込額
報酬	円 9,902,238	(光熱水費)	円 2,181,700
給料	45,760,020	(修繕料)	19,853,437
職員手当等	33,038,362	(医薬材料費)	0
共済費	16,524,959	役務費	1,393,363
報償費	112,000	委託料	42,730,214
旅費	1,769,852	使用料及び賃借料	11,493,259
需用費	34,416,179	工事請負費	4,793,800
(消耗品費)	5,001,712	原材料費	23,301
(燃料費)	166,881	備品購入費	4,047,967
(食糧費)	6,000	負担金、補助及び交付金	324,600
(印刷製本費)	2,181,700	公課費	0
合計		合計	247,300,354

4. 豊橋市自然史博物館協議会

第1回

期 日：令和5年7月21日（金）

場 所：自然史博物館 講堂

出席者：委員（7名）

滝川昌男、近藤久弥、安村信弘、杉山
康子、島田知彦、三輪多恵子、河村善
也

事務局（6名）

議 題：

- ・会長及び副会長の互選について

会 長 安村信弘

副会長 滝川昌男

- ・令和4年度 自然史博物館事業報告について
- ・令和5年度 自然史博物館主要事業について
- ・豊橋市の科学教育施設の将来像について

第2回

期 日：令和6年2月27日（火）

場 所：自然史博物館 講堂

出席者：委員（8名）

滝川昌男、近藤久弥、安村信弘、杉山
康子、島田知彦、三輪多恵子、中神則
子、河村善也

事務局（7名）

議 題：

- ・令和5年度の主な活動について
- ・令和6年度豊橋市自然史博物館の主要事業計
画（案）について

豊橋市自然史博物館協議会委員

（令和5年度）

役職名	氏名	部門
小中学校長会代表	滝川昌男	学校教育
小中学校長会代表	近藤久弥	学校教育
自治連合会代表	安村信弘	社会教育
自然史博物館 ボランティア代表	杉山康子	社会教育
小中学校 PTA 連絡協議会代表	藤城好美	家庭教育
小中学校 PTA 連絡協議会代表	斉藤巧哲	家庭教育
愛知教育大学 准教授	島田知彦	学識経験
豊橋創造大学 教授	三輪多恵子	学識経験
元豊城中学校教頭	中神則子	学識経験
愛知教育大学 名誉教授	河村善也	学識経験

5. 各種委員会

(1) 豊橋市自然史博物館資料収集委員会

購入予定資料、寄贈受入予定資料等について審査、意見を聴取する。令和5年度は、審査案件がなかったため未開催。

豊橋市自然史博物館資料収集委員（令和5年度）

区分	氏名	所属・役職
古生物	河村 善也	愛知教育大学名誉教授
植物	藤井 伸二	人間環境大学准教授
昆虫	江田 信豊	元・南山大学教授
脊椎動物	織田 銃一	元・岡山理科大学教授 元・名古屋大学大学院教授

(2) 豊橋市自然史博物館研究委員会

第1回

期 日：令和5年6月9日（金）
場 所：豊橋市自然史博物館講堂
報告事項：

(1) 第18回自然史博物館自由研究展結果
議 題：

- (1) 令和5年度の事業について
 - ・第19回自然史博物館自由研究展
 - ・出前授業／標本貸出セット
- (2) その他

第2回

期 日：令和5年10月5日（木）～13日（金）
の間で各委員が都合に合わせて来館、審査
場 所：豊橋市自然史博物館講堂
議 題：

- (1) 第19回自然史博物館自由研究展応募作品の審査

第3回

期 日：令和6年2月16日（金）

場 所：豊橋市自然史博物館講堂

議 題：

- (1) 令和5年度の事業報告
 - ・第19回自然史博物館自由研究展
 - ・出前授業／標本貸出セット
 - ・その他
- (2) 令和6年度博物館の事業について
 - ・第20回自然史博物館自由研究展
 - ・その他
- (3) その他

豊橋市自然史博物館研究委員（令和5年度）

区分	氏名	所属・役職
委員長	中村 宏	豊南小学校校長
委員	山田 真裕	石巻小学校教諭
委員	原田 誠	高師小学校教諭
委員	鈴木 進太郎	石巻中学校教諭
委員	近藤 法明	老津小学校教諭
委員	山本 律子	杉山小学校教諭
委員	鈴木 理恵子	富士見小学校教諭

(3) 豊橋市自然史博物館大型映像番組選定委員会

期 日：令和5年6月22日（木）

場 所：自然史博物館講堂

主席者：委員長、委員4人、事務局4人

議 題：

- ・令和5年10月からの自然史博物館大型映像デジタル番組組込・宣伝業務の契約候補者の選定について

6. 自然史博物館ボランティア

市民参加による博物館事業の推進及び生涯学習に資するため、平成8年度より博物館ボランティアの一般公募を行っている。常設展示及び特別企画展の解説活動を主とする「教育普及ボランティア」と、標本の処理、登録作業を行う「資料ボランティア」がある。令和5年度は、85人が登録し、活動を行った。

1) 新規ボランティア説明会及び研修

本年度は5人の応募者があり、所定の研修後、4人を採用した。

2) 運営委員会の開催

ボランティア主催の行事を自主的に企画・運営する運営委員に7人が選出され、10回の運営委員会が開催された。

3) ボランティア・ガイドツアー

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、7月からボランティアによる常設展示室のガイドツアーを再開した。131回開催し、参加者数は2,552人であった。

4) スポット音読

ボランティアによる絵本や紙芝居等の読み聞かせを博物館内にて実施した。18回開催し、参加者数は671人であった。

5) ボランティア通信「ぷしったこ」の発行

ボランティアの相互交流と情報交換を目的としたボランティア通信「ぷしったこ」を40号から42号まで発行した。

6) 特別企画展関連行事での活動

第37回特別企画展「カイジウ博2023 一海で暮らす仲間たち」の会場内外にて、ボランティアが製作した展示解説アイテム（ヒゲクジラ生体復元人形、ラッコ

頭骨等3D模型、カイジウ帽子、紙芝居等）を用いて展示解説等を行った。また、展示資料収集・解説イラスト・パネル・ラベル作成、資料の展示、開催記念行事のサポートも行った。

7) 恐竜大掃除

令和5年12月14日（木）に開催された恐竜大掃除に20人が参加し、野外恐竜ランドの実物大恐竜模型及び博物館内の恐竜骨格標本の清掃を職員とともに行った。

8) ボランティア主催行事

下記の研修会を自主的に企画し、開催した。

①ボランティア総会

期 日：令和5年5月13日（日）

場 所：自然史博物館

参加者：43人

②チリモン基礎講座

期 日：令和5年6月17日（土）

場 所：自然史博物館

参加者：5人

③野外研修会（漂着物）

期 日：令和5年9月24日（日）

場 所：田原市赤羽根町

参加者：9人

④野外研修会（植物）

期 日：令和5年10月12日（木）

場 所：葦毛湿原

参加者：12人

⑤微小貝観察（貝類）

期 日：令和6年3月9日（土）

会 場：自然史博物館

参加者：9人

⑥ボランティア交流会

期 日：令和6年2月28日（木）

会 場：自然史博物館

参加者：19人

令和5年度のボランティア活動実績（令和5年4月～令和6年3月）

分 野		登録人数	活動のべ人数	活動のべ時間	活動内容
運営委員会		7	75	101	自主研修等の企画・運営
編集委員会		6	58	166	ボランティア通信の編集・発行
教育普及		26	398	1,030	展示解説等
資料整理	植物	8	87	250	標本台紙貼等
	貝類	8	108	270	標本ラベル記入、リスト作成等
	昆虫	10	77	167	標本作製等
	魚類	7	9	30	標本作製等
	脊椎動物	23	161	440	標本作製等
	化石	14	315	731	化石クリーニング、登録等
	岩石・鉱物	4	5	29	登録、リスト作成等
	図書	4	36	63	図書受入、登録、配架等
小計		78	798	1,980	
計		117	1,329	3,277	

※登録人数は85人、内31人が複数分野に登録

IV. 条例、規則、要綱

豊橋市自然史博物館条例

(昭和 63 年 3 月 31 日条例第 6 号)

(趣 旨)

第 1 条 この条例は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 244 条の 2 第 1 項の規定に基づき、豊橋市自然史博物館及びその附属施設（以下「自然史博物館」という。）の設置等に関し、必要な事項を定めるものとする。

一部改正〔平成 13 年条例 13 号・令和 5 年 10 号〕

(設 置)

第 2 条 自然史に関する資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の利用に供し、併せて博物館資料に関する調査研究を行い、市民の文化の向上に資するため、自然史博物館を次の場所に置く。

名称	位置
豊橋市自然史博物館	豊橋市大岩町字大穴 1 番地の 238
(附属施設) 豊橋市石巻自然科学資料館	豊橋市石巻町字南山 93 番地の 14

一部改正〔平成 13 年条例 13 号〕

(事 業)

第 3 条 自然史博物館は、その目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 博物館資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
- (2) 博物館資料に係る電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を作成し、公開すること。
- (3) 博物館資料に関する調査研究を行うこと。

(4) 博物館資料に関する解説書、図録、調査研究の報告書等を作成し、頒布すること。

(5) 博物館資料に関する講演会、研究会、講習会等を開催すること。

(6) 自然史に関する展示等のための会場を提供すること。

(7) 学芸員その他の自然史博物館の事業に従事する人材の養成及び研修を行うこと。

(8) その他教育委員会が必要と認める事業を行うこと。

一部改正〔令和 5 年条例 10 号〕

(観覧等)

第 4 条 特別企画展示室において特別な企画に基づく博物館資料の展示品を観覧しようとする者は、別表第 1 に定める額の範囲内において市長が定める使用料を納付しなければならない。

2 特別企画展示室において大型映像を観覧しようとする者は、別表第 2 に定める額の範囲内において市長が定める使用料を納付しなければならない。

全部改正〔平成 4 年条例 15 号〕

一部改正〔平成 23 年条例 13 号〕

(博物館資料の利用等)

第 5 条 博物館資料の閲覧、複写、模写、模造、拓本、撮影等をしようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 前項の承認を受けた者（博物館資料の閲覧をする者を除く。）は、その際別表第 3 に定める手数料を納付しなければならない。

一部改正〔平成 4 年条例 15 号・令和 5 年 10 号〕

(使用の承認等)

第 6 条 自然史博物館を使用しようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 前項の承認を受けた者（以下「使用者」という。）は、その際別表第4に定める使用料を納付しなければならない。

一部改正〔平成4年条例15号・令和5年10号〕

（使用料等の減免）

第7条 市長は、特別の事由があると認めたときは、使用料又は手数料を減免することができる。

（使用の制限）

第8条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合には、使用を承認しない。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めたとき。
- (2) 管理上支障があると認めたとき。
- (3) その他教育委員会が必要があると認めたとき。

一部改正〔令和5年条例10号〕

（権利譲渡の禁止等）

第9条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

2 使用者は、自然史博物館に特別の設備をしようとするときは、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

（使用承認の取消等）

第10条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めた場合には、自然史博物館の使用の承認を取り消し、又は使用の停止を命ずることができる。

- (1) 使用者が、この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 公益上又は管理上特に必要があると認めたとき。

一部改正〔令和5年条例10号〕

（使用料等の還付）

第11条 納付された使用料又は手数料は、還付しない。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、その全部又は一部を還付することができる。

（入館の制限）

第12条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合には、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 入館者に迷惑をかけ、又は自然史博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷するおそれがあると認めたとき。
- (2) 管理上支障があると認めたとき。

一部改正〔令和5年条例10号〕

（原状回復）

第13条 使用者は、自然史博物館の使用を終わったとき又は第10条の規定により使用の承認を取り消され、若しくは使用を停止されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

（損害賠償）

第14条 入館者又は使用者は、自然史博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷し、又は滅失したときは、市長の指示に従い、これを原状に回復し、又は損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事由があると認めたときは、その全部又は一部を免除することができる。

（自然史博物館協議会）

第15条 博物館法（昭和26年法律第285号）第23条第1項の規定に基づき、自然史博物館に豊橋市自然史博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会の委員の定数は、12人以内とする。
- 3 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。
- 4 協議会の委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 協議会の委員は、再任されることができる。

一部改正〔平成24年条例8号・令和5年10号〕

（委 任）

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

＊別表類は下記の箇所を参照。

第4条 別表第1. 48 ページ ②

〃 別表第2. 〃 〃

第5条 別表第3. 48 ページ ③

第6条 別表第4. 48 ページ ④

豊橋市自然史博物館条例施行規則

(昭和63年4月5日教育委員会規則第4号)

(趣 旨)

第1条 この規則は、豊橋市自然史博物館条例

(昭和63年豊橋市条例第6号。以下「条例」という。)第16条の規定に基づき、条例の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 豊橋市自然史博物館及び附属施設(以下「自然史博物館」という。)の開館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、教育委員会が必要があると認めたときは、開館時間を変更することができる。

2 自然史博物館の入館時間は、午前9時から午後4時までとする。ただし、教育委員会が必要があると認めたときは、入館時間を変更することができる。

一部改正〔平成13年教委規則8号〕

(休館日)

第3条 自然史博物館の休館日は、次の各号に掲げる施設に応じ、当該各号に定めるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めたときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 豊橋市自然史博物館 次に掲げる日

ア 1月5日から12月28日までの毎週月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日

イ 1月1日及び12月29日から同月31日まで

(2) 豊橋市石巻自然科学資料館 月曜日。
ただし、その日が休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日

全部改正〔平成13年教委規則8号〕

一部改正〔平成19年教委規則3号〕

(観覧等)

第4条 条例第4条第1項の規定により、特別な企画に基づく展覧会(以下「特別企画展」という。)を観覧しようとする者(以下「特別企画展観覧者」という。)は、使用料の納付と引換えに教育委員会がその都度定める様式による観覧券の交付を受けなければならない。

2 条例第4条第2項の規定により、大型映像を観覧しようとする者は、使用料の納付と引き換えに観覧券(様式第1)の交付を受けなければならない。

3 前2項又は次条第1項の規定により交付された観覧券は、特別企画展示室の入口において改札と同時に半券を回収する。ただし、団体観覧の場合は、この限りでない。

全部改正〔平成4年教委規則14号〕

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(前売券の交付)

第5条 教育委員会は、特別企画展観覧者に対しては、前条第1項に規定する観覧券にかえて教育委員会がその都度定める様式による前売観覧券(以下「前売券」という。)を交付することができる。

2 前項の前売券を交付する場合の使用料の額は、当該前売券に係る特別企画展の団体観覧料と同額とする。

追加〔平成8年教委規則5号〕

(優待券等の発行)

第6条 教育委員会が特に必要があると認めたときは、優待券又は招待券を発行することができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(博物館資料の利用)

第7条 条例第5条第1項の規定により博物館資料(条例第2条に規定する博物館資料をいう。以下同じ。)の閲覧、複写、模写、模造、拓本、撮影等をしようとする者は、博物館資料利用申請書(様式第2)を教育委員会に提出しなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用の承認申請手続)

第8条 条例第6条第1項の規定により、自然史博物館の使用承認を受けようとする者は、使用承認申請書(様式第3)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の規定による申請の手続は、使用日の属する月の6月前から使用日前7日前までにしなければならない。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めたときは、この限りでない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用の承認)

第9条 教育委員会は、前条の規定による申請を承認したときは、使用承認書(様式第4)を申請者に交付する。

2 前項の承認には、管理上必要な条件を附することができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(手数料の減免)

第10条 条例第7条の規定により、手数料の減免を受けようとする者は、手数料減免申請書(様式第5)を市長に提出しなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用料の減免)

第11条 条例第7条の規定により使用料を減免することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 免除

ア 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の所持者及びこれら

の者の引率者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

イ 豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、北設楽郡設楽町、同郡東栄町及び同郡豊根村(以下「東三河地域」という。)の小学校、中学校及びこれらに準ずる学校の教育活動の一環として児童又は生徒及びこれらの者の引率者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

ウ 東三河広域連合の交付するほの国こどもパスポートの所持者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

エ 東三河地域に居住し、又は通園している学齢に達していない者のうち、保護者1人につき2人目以降の者が大型映像を観覧するとき。

(2) 免除又は減額

ア 観覧しようとする日の属する年の12月31日までに70歳以上となる者(市内に住所を有する者に限る。)が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

イ 市長が特別の事情があると認めたとき。

2 前項第1号イ及び第2号イの規定により使用料の免除又は減額を受けようとする者は、使用料減免申請書(様式第6又は様式第7)を市長に提出しなければならない。

3 第1項第1号(イを除く。)及び第2号アの規定によりの規定により使用料の免除を受けようとする者は、それぞれに掲げる免除事由に該当することを係員に示さなければならない。

全部改正〔平成5年教委規則6号〕

一部改正〔平成8年教委規則5号・16年7号・25年4号・27年10号・30年7号〕

(特別の設備)

第12条 条例第9条第2項の規定により許可を受けようとする者は、自然史博物館の使用承認の申請の際に併せてその申請をしなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用料等の還付)

第13条 条例第11条ただし書の規定により既納の使用料又は手数料の全部又は一部を還付することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 特別企画展若しくは大型映像を観覧しようとする者又は使用者の責に帰することのできない事由で観覧し、又は使用することができなくなったとき。

(2) その他市長が特別の事由があると認めたとき。

一部改正〔平成4年教委規則10号・14号・8年5号〕

(博物館資料の館外貸出し)

第14条 博物館資料は、教育委員会が適当と認めたものに館外貸出しを行うことができる。

2 前項の館外貸出しを受けようとする者は、資料館外貸出申請書(様式第8)を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、前項の規定による申請を承認したときは、館外貸出承認書(様式第8の2)を申請者に交付する。

4 前項の承認には、管理上必要な条件を附することができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号・令和5年7号〕

(博物館資料の寄託)

第15条 自然史博物館は、博物館資料の寄託を受けることができる。

2 博物館資料を寄託しようとする者(以下「寄託者」という。)は、資料寄託申請書(様式第9)を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、前項の規定による申請を承認したときは、寄託者に資料受託書(様式第10)を交付するものとする。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(自然史博物館協議会)

第16条 条例第15条第1項に規定する豊橋市

自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長各1人を置き、それぞれ委員の互選により定める。

2 会長及び副会長の任期は各1年とし、再任を妨げない。

3 会長は会務を総理し、会議の議長となる。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(会 議)

第17条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(説明又は資料の請求等)

第18条 会長は、会議において関係職員に対し、説明又は資料の提出を求めることができる。

2 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(委 任)

第19条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

一部改正〔平成8年教委規則5号・12年7号〕

豊橋市自然史博物館資料収集委員会設置要綱 (設置)

第1条 豊橋市自然史博物館(以下「自然史博物館」という。)における博物館資料の収集を適正かつ円滑に行うため、豊橋市自然史博物館資料収集委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(組織)

第2条 委員会は、5人以内の委員をもって組

織する。

- 2 委員は、自然史各分野について専門的な知識を有する者から教育委員会が委嘱する。
- 3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 4 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 前各項の規定にかかわらず、必要に応じ、第4条の規定に基づく審査案件の専門知識を有する者を臨時委員として委嘱することができる。

(会議)

第3条 委員会は、教育委員会が招集する。

- 2 審査案件が単件又は同一の専門分野のみの場合は、当該案件について専門的な知識を有する委員のみによる審査に代えることができる。
- 3 委員会は、非公開とする。

(審査事項等)

第4条 委員会は、博物館資料となる資料の購入又は受入れに関し、次に掲げる事項を審査するものとする。

- (1) 対象となる資料の真贋及び学術的価値に関する事項
 - (2) 対象となる資料の評価額に関する事項
 - (3) 対象となる資料の適法性に関する事項
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、資料の購入又は受入れに関し市長が必要と認める事項
- 2 次の各号のいずれかに該当する場合、自然史博物館は、あらかじめ委員会の意見を聴取するものとする。
 - (1) 評価額が1件100万円以上の博物館資料の購入、寄贈又は寄託を受け入れようとするとき。
 - (2) 前号に掲げるもののほか、特に必要と認める資料を購入し、又は受け入れようとするとき。
 - 3 委員会は、第1項の規定による審査の終了後、博物館資料審査報告書(別添様式)を作成し、審査結果を報告する。

- 4 第1項の規定による審査の内容について利害関係を有する委員は、前3項に基づく任務に加わるができない。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、自然史博物館において処理する。

(秘密の保持)

第6条 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成30年7月27日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年1月1日から施行する。

豊橋市自然史博物館研究委員会要綱

(設置)

第1条 豊橋市自然史博物館(以下「自然史博物館」という。)の教育普及活動の効率的な推進を図るために、豊橋市自然史博物館研究委員会(以下「研究委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 研究委員会は、次に掲げる事業について、必要に応じ協議し、助言を行う。

- (1) 自然史博物館の施設利用に関すること。
- (2) 学校との連携事業に関すること。
- (3) その他特に必要と認められること。

(委員)

第3条 研究委員会は、委員長及び委員をもって構成し、定数は10名以内とする。

2 委員長及び委員は、市内小中学校の教諭で理科を担当するもののうちから教育委員会が委嘱する。

3 委員長は、研究委員会を招集し、委員会の議長となる。

(委員会)

第4条 研究委員会は、必要に応じ委員長が招

集する。

2 研究委員会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 研究委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長が決するところによる。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げないものとする。

2 前項の規定にかかわらず、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(守秘義務)

第6条 委員長及び委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その任期後も、同

様とする。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、自然史博物館において処理する。

(委任)

第8条 研究委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成15年6月4日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

V. 自然史博物館の概要

経過

昭和 58 年	デンバー自然史博物館（アメリカ）と友好提携 実物恐竜化石アナトサウルス購入
昭和 60～62 年度	建設工事（市制施行 80 周年記念事業）
昭和 63 年 5 月 1 日	開館
平成 4 年 4 月 29 日	「自然史博物館」と「動物園」が一体の有料都市公園施設となり、 名称が『豊橋総合動植物公園』となる。
平成 4 年 12 月 19 日	大型映像スタート
平成 7 年 3 月 25 日	郷土の自然展示室展示改装オープン
平成 16 年 4 月 29 日	古生代展示室展示改装オープン
平成 20 年 4 月 26 日	中生代展示室展示改装オープン
平成 28 年 5 月 2 日	新生代展示室展示改装オープン

展示室等面積

単位：㎡

常設展示室の標本展示数

室名	当初面積	増築面積 (平成 4 年)	増築面積 (平成 14 年)	増築面積 (平成 18 年)	合計	展示室名	展示数 (点)
特別企画展示室	0	658	0	0	658	イントロホール	9
郷土の自然展示室 (ガラパゴス含む) ^{※1}	224	465	0	0	689	古生代展示室	564
収蔵庫	116	436	0	0	552	中生代展示室/ エドモントサウルス展示室	330
学習室・研究室・ 製作室等	159	278	0	0	437	新生代展示室	624
古・中・新生代展 示室 ^{※2}	1,276	0	242	224	1,742	自然史スクエア	2
設備機械室	221	151	31	25	428	郷土の自然展示室	2,387
廊下・便所・その 他	1,591	887	0	0	2,478	その他	300
計	3,587	2,875	273	249	6,984	計	4,216

※1 1 階（ガラパゴス含む）：500 ㎡、2 階：189 ㎡

※2 古生代展示室：506 ㎡、中生代展示室・エドモントサウルス展示室：794 ㎡、新生代展示室：442 ㎡

令和 6 年 3 月 31 日現在

豊橋市民愛市憲章

わたくしたち豊橋市民は

1. 心をあわせ美しい町をつくりましょう
1. よく働き豊かな町をつくりましょう
1. 愛情をもちあたたかい町をつくりましょう
1. きまりを守り明るい町をつくりましょう
1. 教養をたかめ文化の町をつくりましょう

豊橋市自然史博物館年報

第36号 令和5年度

令和6年(2024年)7月25日 発行

発行 豊橋市自然史博物館

〒441-3147

豊橋市大岩町字大穴 1-238

電話 (0532)41-4747

FAX (0532)41-8020

<https://www.toyohaku.gr.jp/sizensi/>